

5

原 っ も い

邪悪

淫らな心な

モノが棲む

この島には





この島には

淫らで

邪悪な

モノが棲む5

原つもい





〇〇三 第二十話

〇二七 第二十一話

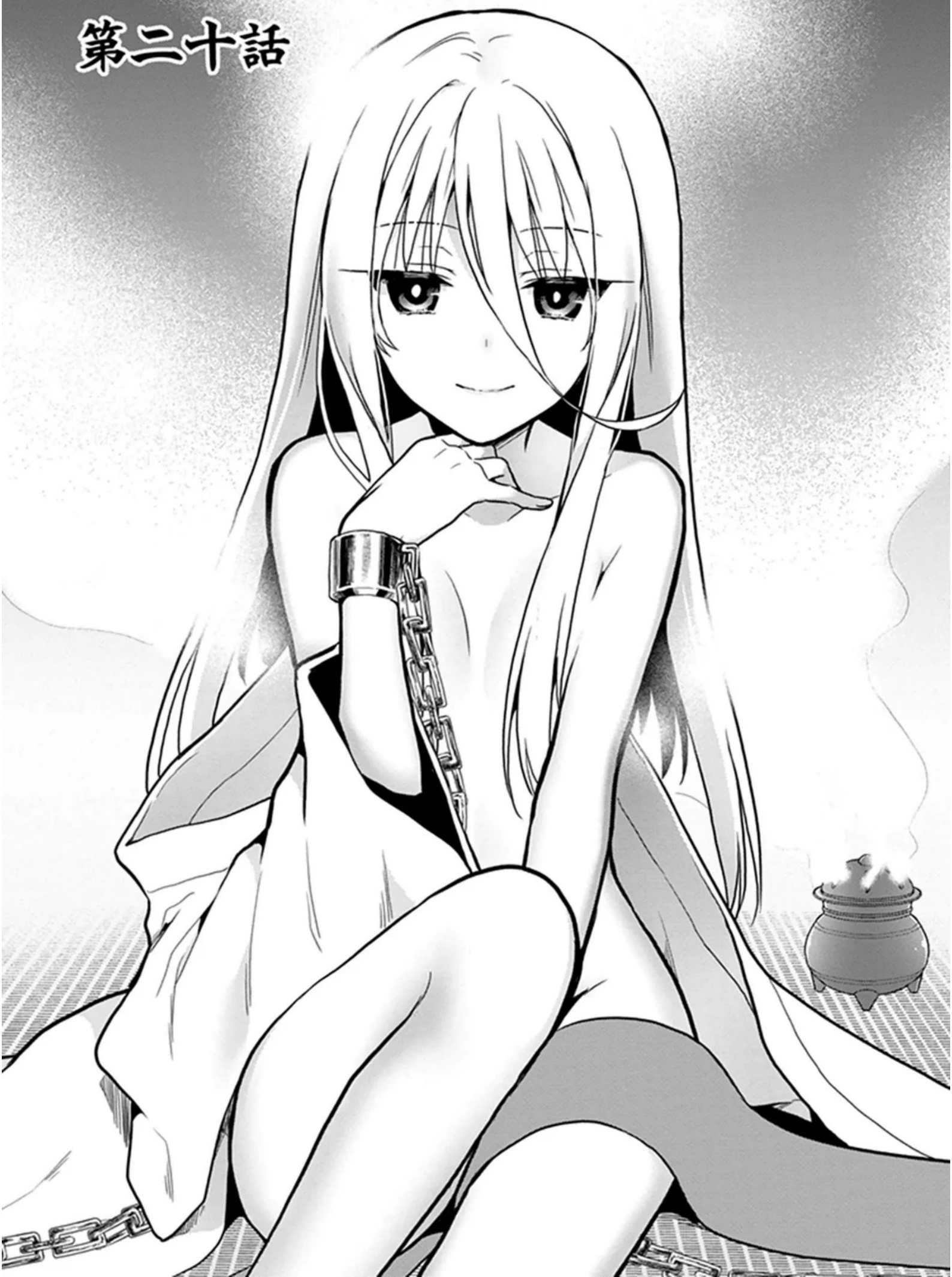
〇五九 第二十二話

〇九九 第二十三話

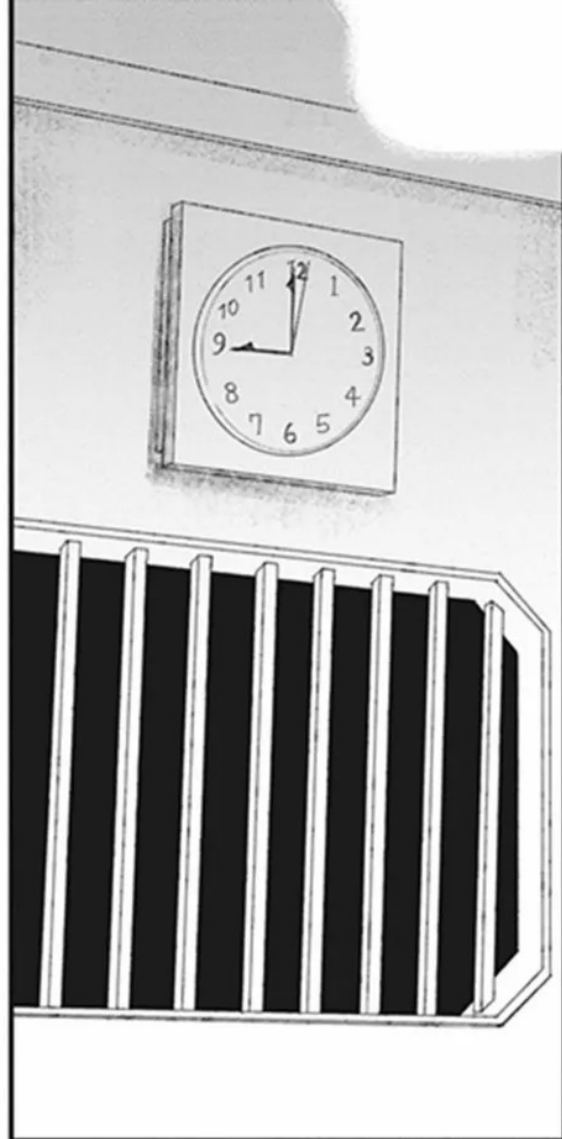
一三九 第二十四話

一五五 第二十四・五話

第二十話

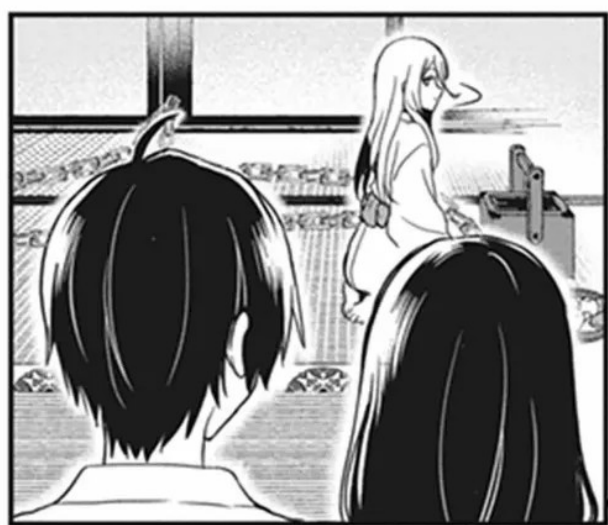






とにかく
それまで
の
乗り切れれば…

定期船まで
あと一日か









…邪魔になるから
出て行って
もらいたいの
じゃがな

ダメだ



それもまた
一興か
いっしょ

まあ…

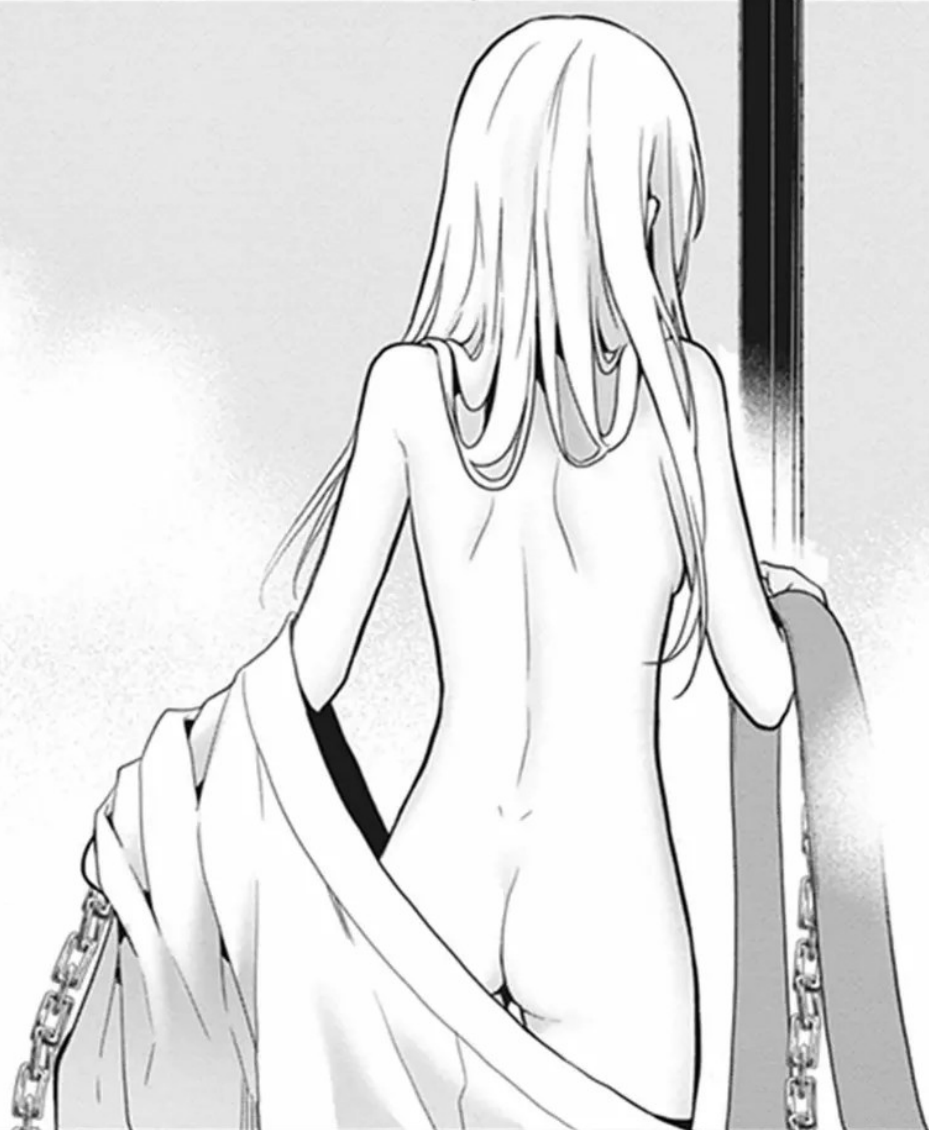
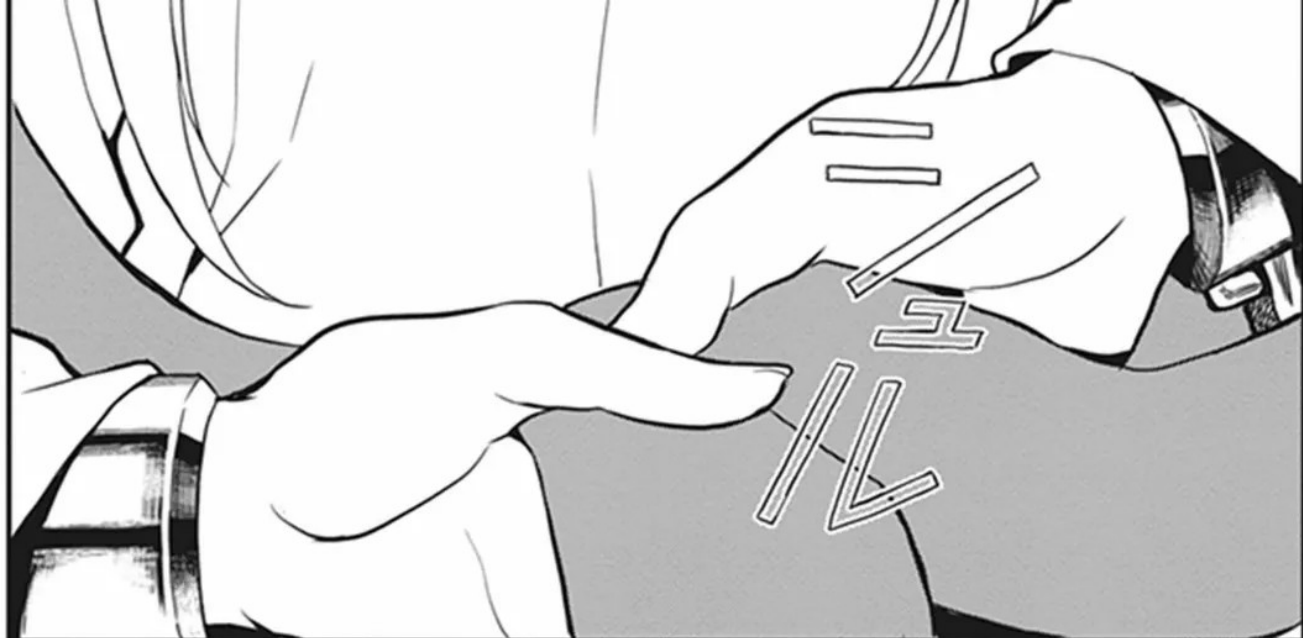


…さて



早いから
早く飲め

?







なん!?

こわ...

なん
何じゃ

こわ
怖いのか?



だんなさま
旦那様も
ぬ
脱げ



ん









旦那様は
前回の訓練の時に
呪いの樹を
見たと言ったな？

そう

それだ

旦那様はあそこに
たどり着かねば
ならぬ

いや…

でも
前は自由に
動けなかったし…

!?

ふいっ
ふいっ
そのための
方法がある

て手を
動かすなっ

我ら伊喜島の者が
構うのは単に
娯楽のためだけではない

呪いの樹と
我らの魂は
繋がっている

すでに神通が
開いている旦那様は
通行手形を
持っているも同然



ある瞬間…
—そう

だっ
…から
動かすなって




目を閉じて
心を旋律で
満たせ

ある瞬間
「門」が開き
呪いの樹にアクセス
することが出来る






なに
何しろ
だんなさま
日那樣と同じ顔を
おな
おな
かお
しておるからの



おな
同じ…？



？



それと
ひとつ
もう一つ
その管理人を

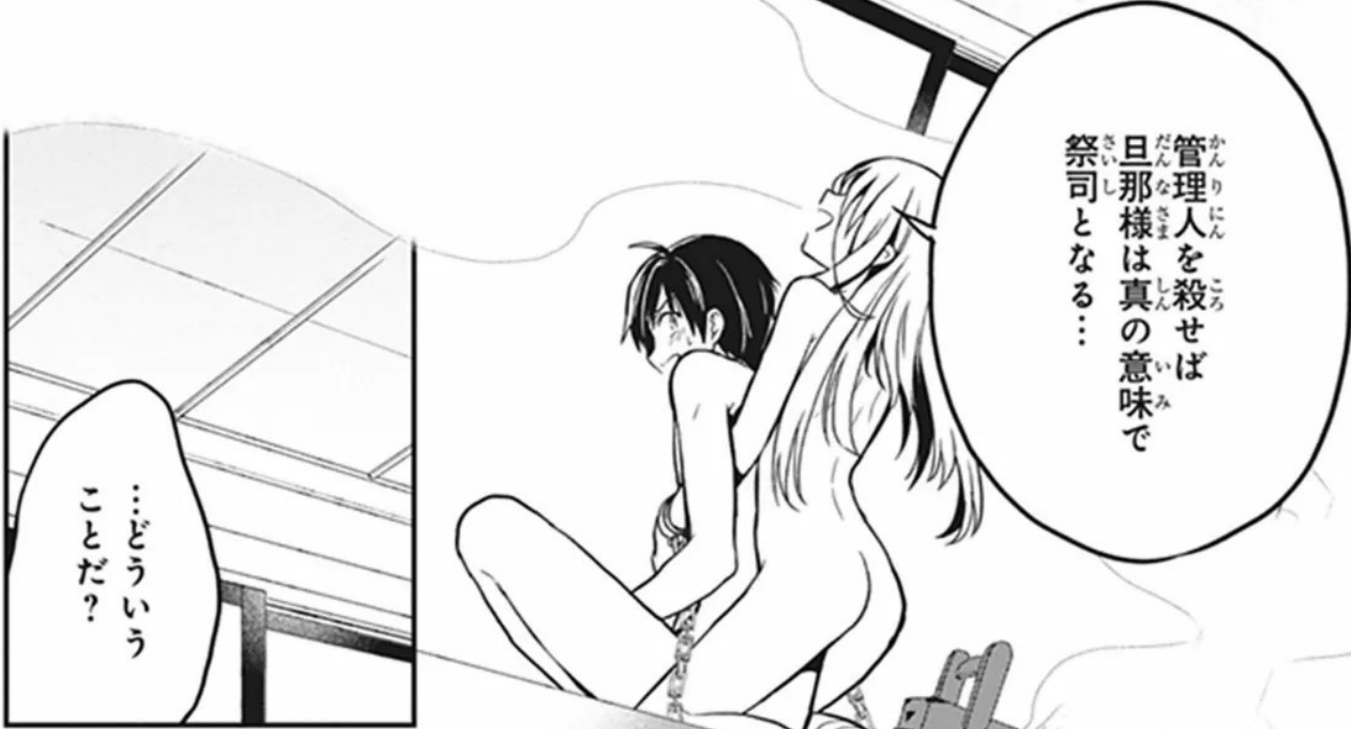


殺せころせ




は...?







管理人を殺せば
旦那様は真の意味で
祭司となる…



…どういう
ことだ？




安心してろ
ただ言われた通りに
すればよい



わるい
悪いようには
せぬ



あっ……



我慢する
必要はないぞ

……くっ……



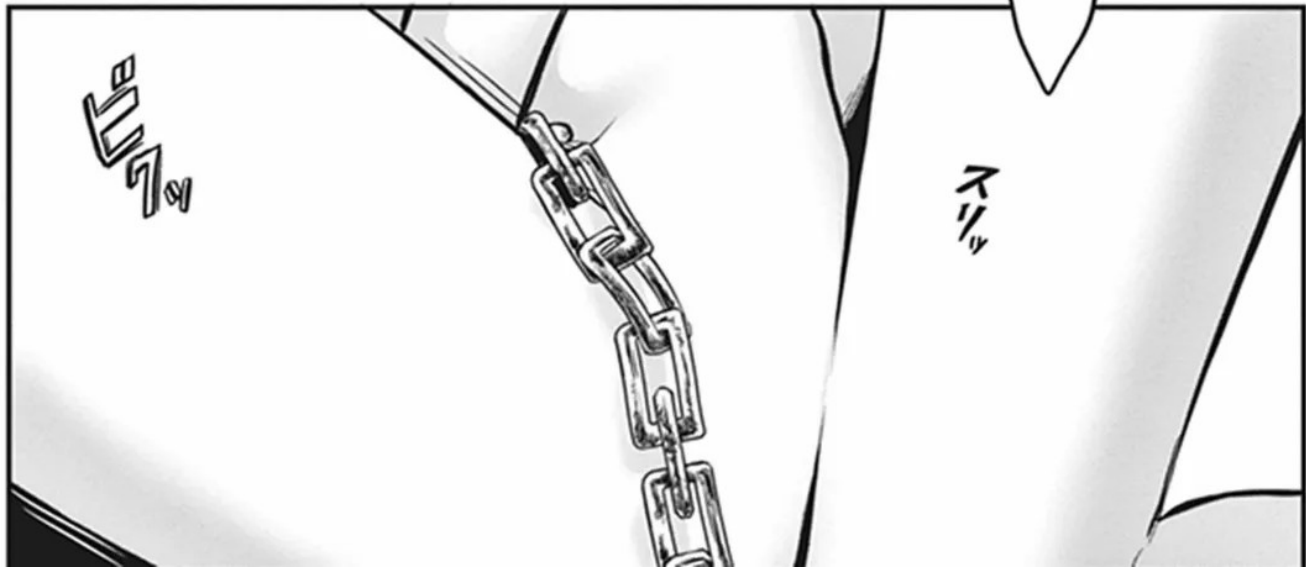
気をやれ

さあ



びびり

うっ……



びびり

スリッ







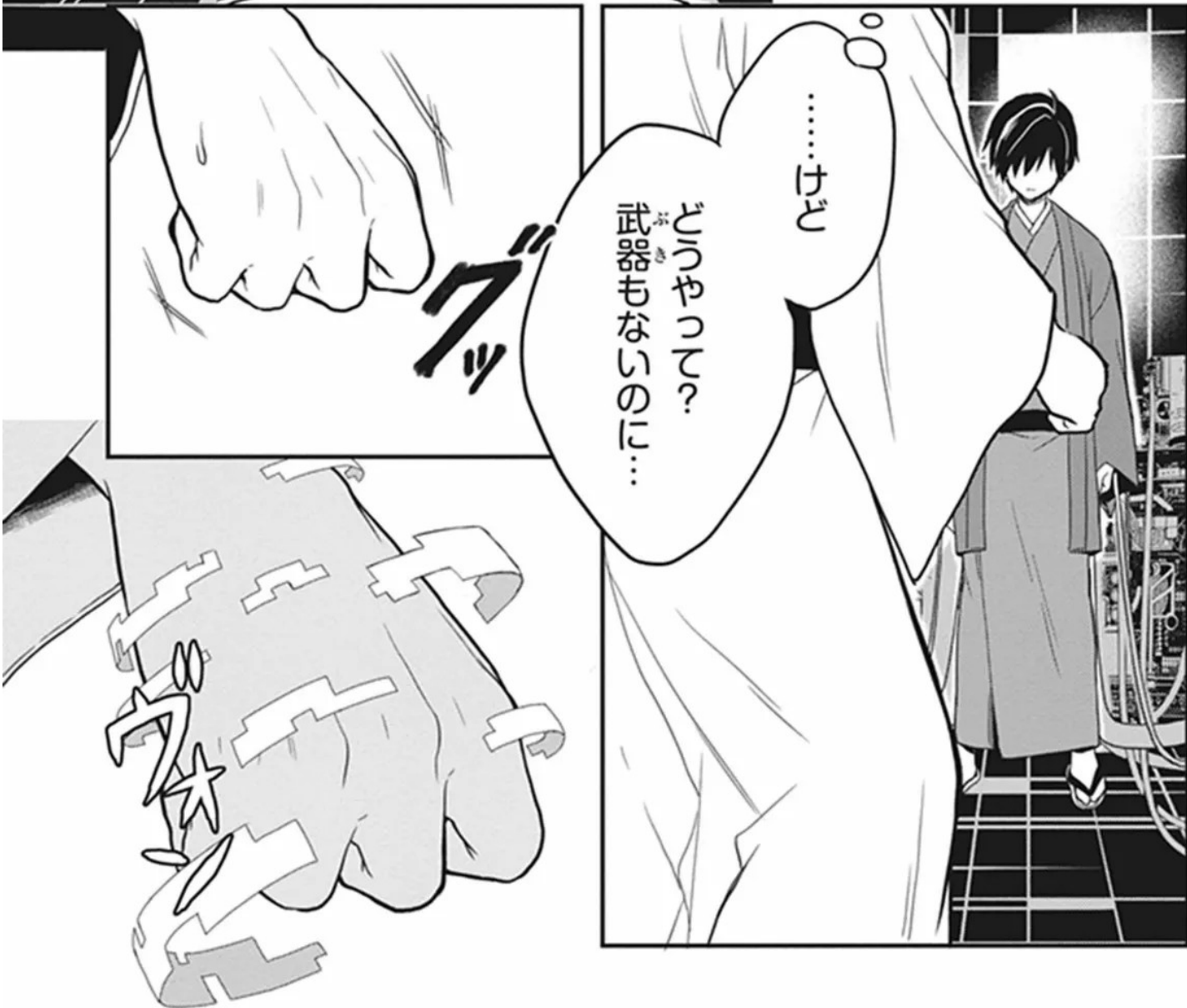
第二十一話



俺とおれ
と
おな
かお
同じ顔……!?

NSN









へえ……?



思った通りになる
データ空間
みたいなものか



ゲームと
同じって
わけだ



…データ?





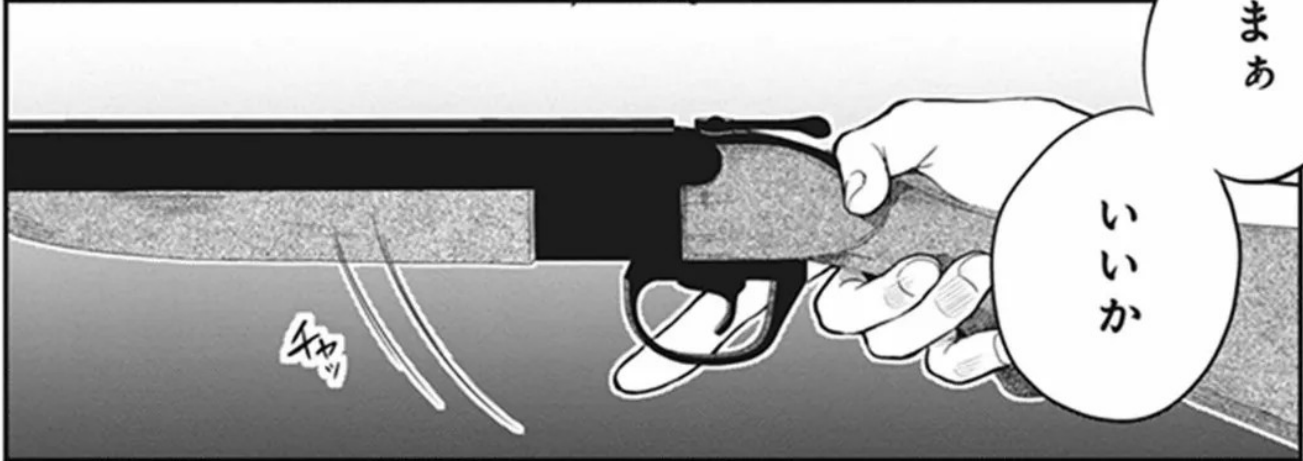
俺は伊喜島に居て
呪いの樹にアクセス
する訓練をしてた
はず…だよな？

いったい
これは…
なんで…



まあ

いいか





質問に
こたへろ
答えろ

さもなくば
撃つ



なんでお前は
俺とおなじ顔を
している？

…それは僕が
聞きたい
ことだな

なんで
僕と同じ顔を
している？

へえ…

喋れるのか

けど
答えに
なっていないな

罰ゲームだ









……ヒイツ!?

なんで
僕ぼくとおなじ顔かおを
している?

お前は
誰だれだ?

うあ…

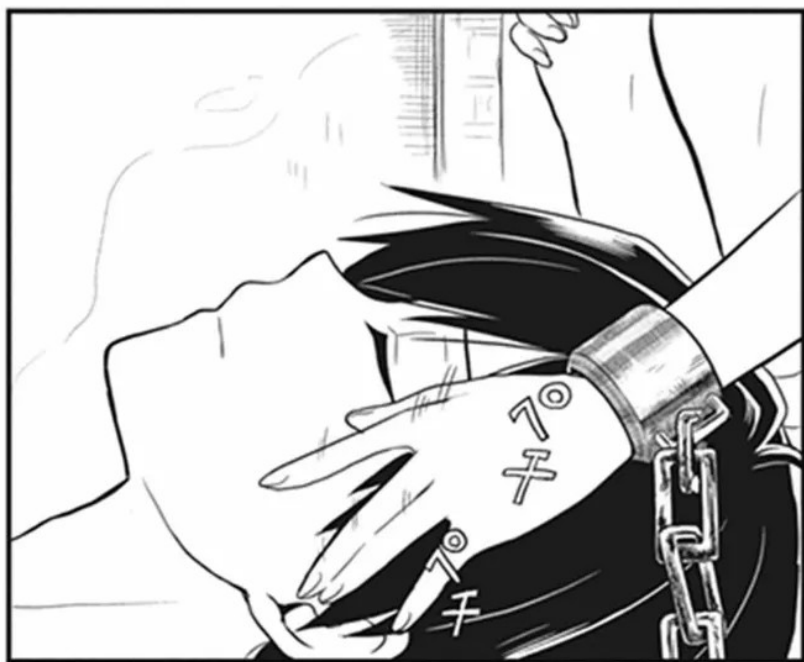
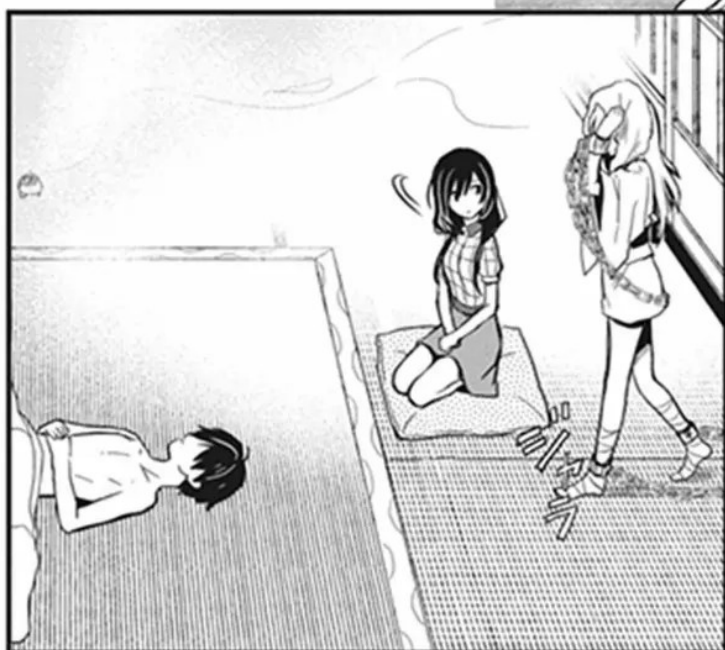
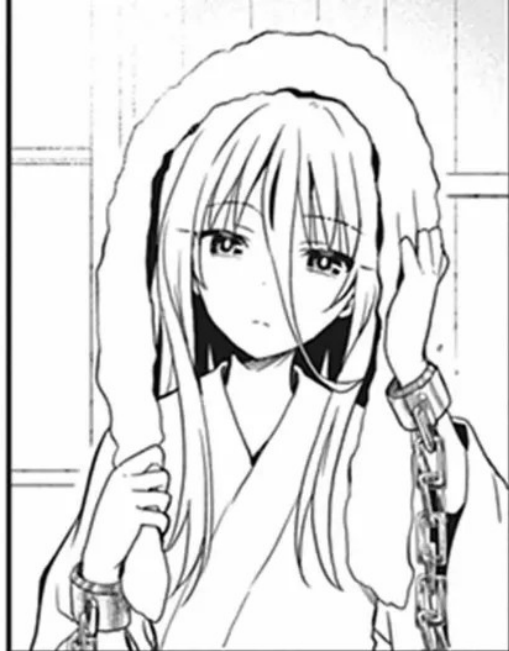




お前は

僕だ





旦那様は
まだ戻ってきて
おらぬようじゃな

あー

ならば
ちようど
いい

ハル

旦那様がここに
居ない間に
お前に話がある

ギョッ

…何(なん)でしようか?

お前(まえ)
カルマ落ち(お)
だったな?

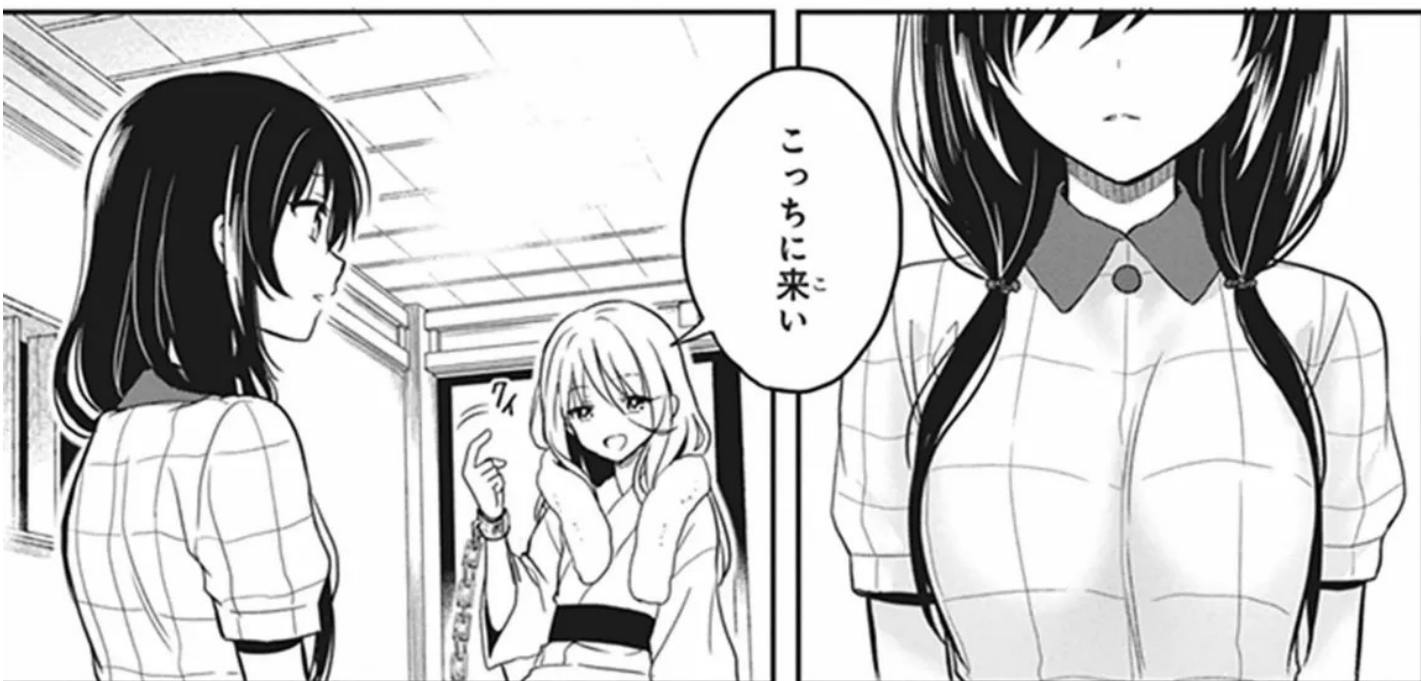
はい
そうです

旦那様(だんなさま)は
お前(まえ)に
執着(しゅうしやく)している
なぜだ?

わかりません

島の外(しまのそと)に出(だ)して
いた(い)た(た)いた(い)た(い)時(とき)に
同(おな)じ(じ)学(がく)校(こう)に
通(か)っ(か)つ(つ)て(て)い(い)ま(ま)し(し)た(た)の(の)で

そのせいかと…

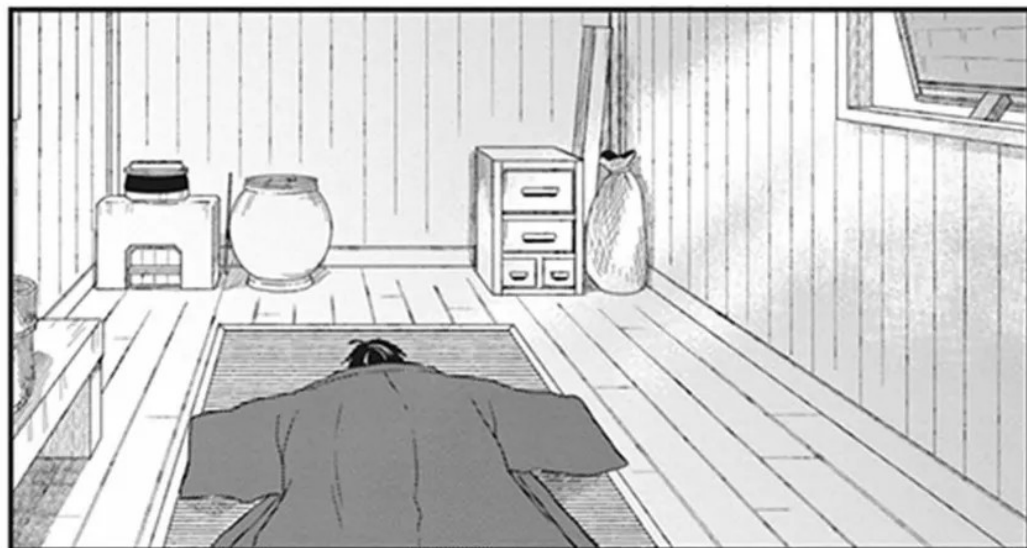
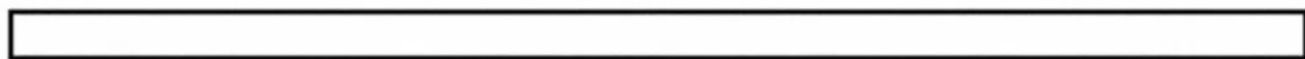


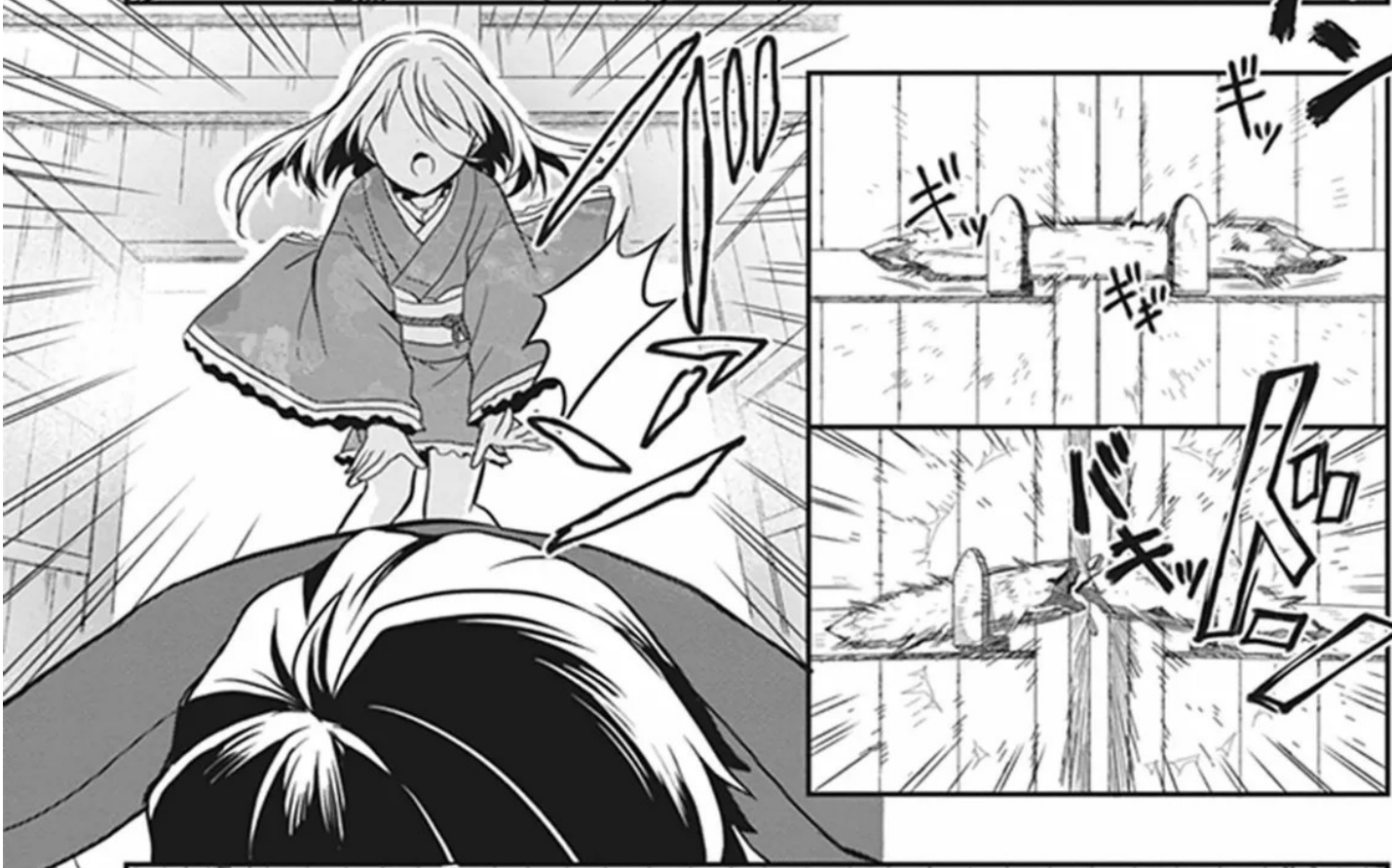




……はい









はやく
おきめかっ!!





えーっと…





みつ

見せて
おるのじゃ!!



一郎太が
我に
手を出して

お父が
婿として
認めなくては
ならぬように

なっ!?



ひょい!



無理



すん



なにぜじゃ!?

そりや蒔絵ちゃんは
僕にとっては
妹みたいなものだもん

きゅん



いや…それ
全部神様の
話だよ

かみさま
— 神様ならっ



兄妹で
結ばれた例など
山ほどあるわ!

塞の神は
兄妹で夫婦だし

唐では
ジョカやフギが
兄妹で夫婦に
なっておる!



かみさま
：神様なら
さいきん
最近見つけたぞ



そう
だった…！



うん

そのため
におこしに
来たのじゃ

かんしゃ
感謝せよ

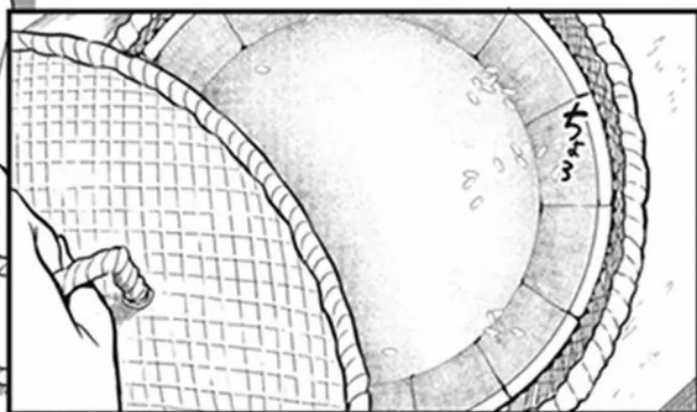
バタ

バタ

ほれ
だいじょうぶ
大丈夫じゃ

たぶんお腹
なか
空いてるよな

えーつと…



これも
お父に
頼んでおいた

ありがとう

おおっ



この島には

淫らで

邪悪な

モノが棲む

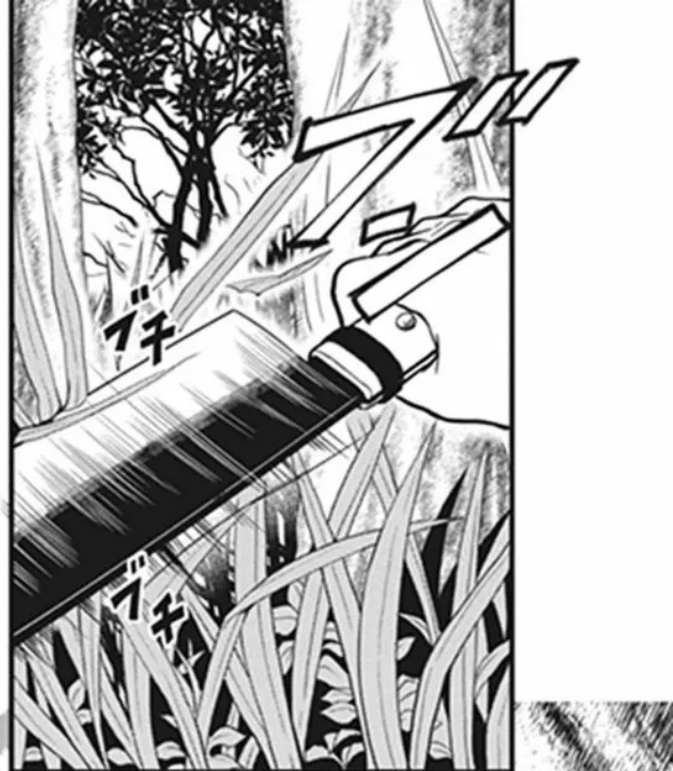
この島には

淫らで

邪悪な

モノが棲む

第二十二話







：何度見ても
ほんとうにすごいなあ



うん

かみさま
神様の家
じゃからな



これもあれの
一部かな...?
錆びてないし
輝いてる

まるで
村長様が持つてる
刀みたいだ...
どうやって
鍛えたんだろう?

こんなに
大きいのに



何じや…

昨日より
草が増えて
おるぞ？



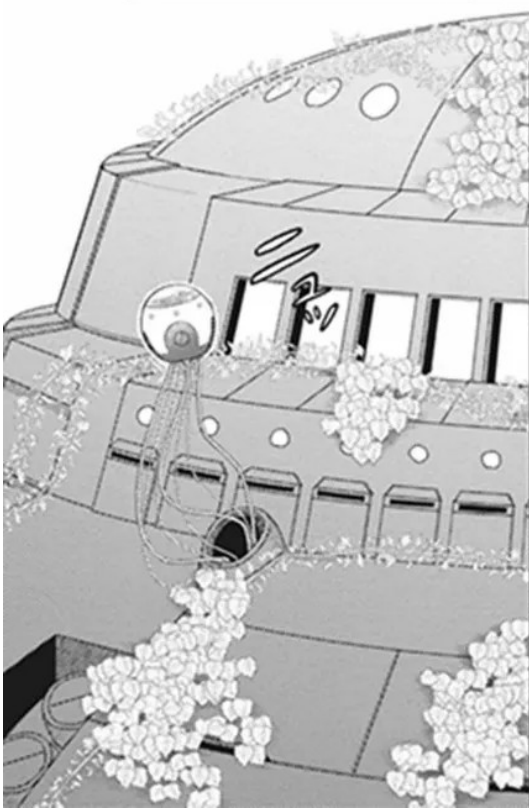
なるほど
のう

そういう
神様なのかな

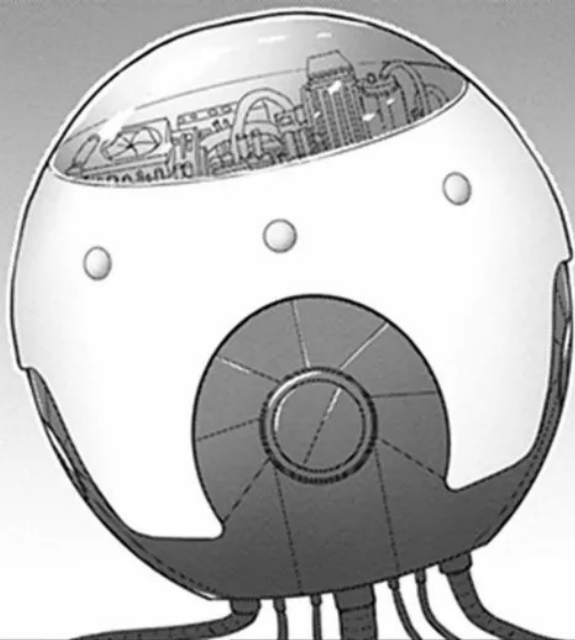


昨日から一日で
そんなに変わる
わけないし

たぶん植物を
操れるん
だろうね

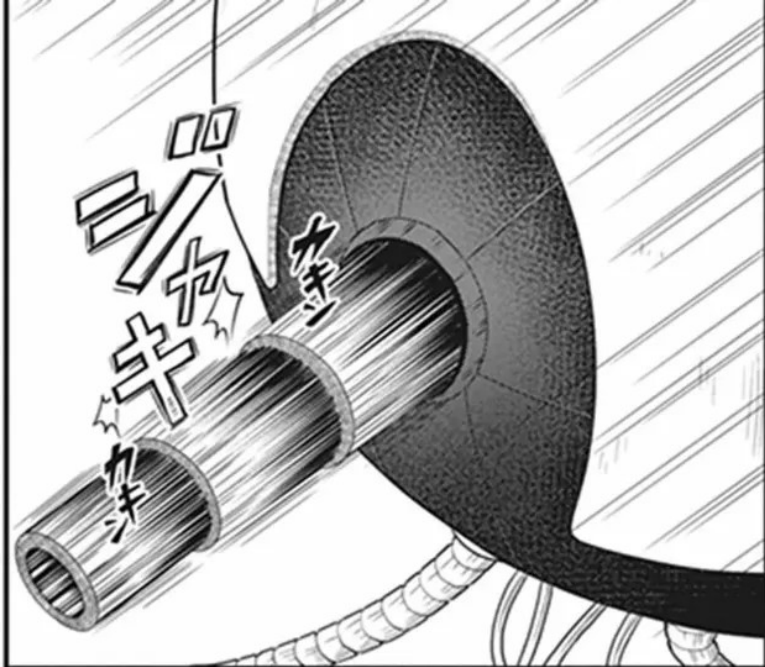


ちか
近づかないで
ください!



こうげき
攻撃を
せよ
行いでしよう

それ以上
ちか
近づいた場合
ばあい



こっちは
美少女と
頼りない
若者だぞっ

どう見ても
敵ではない
だろうが!!



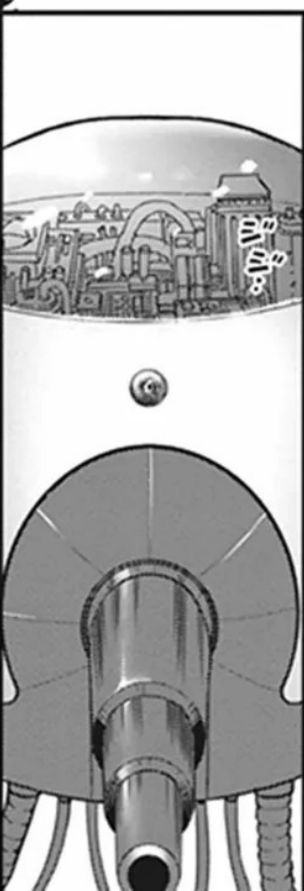


食事...!!

しょ...



食事を持ってきたんです...!





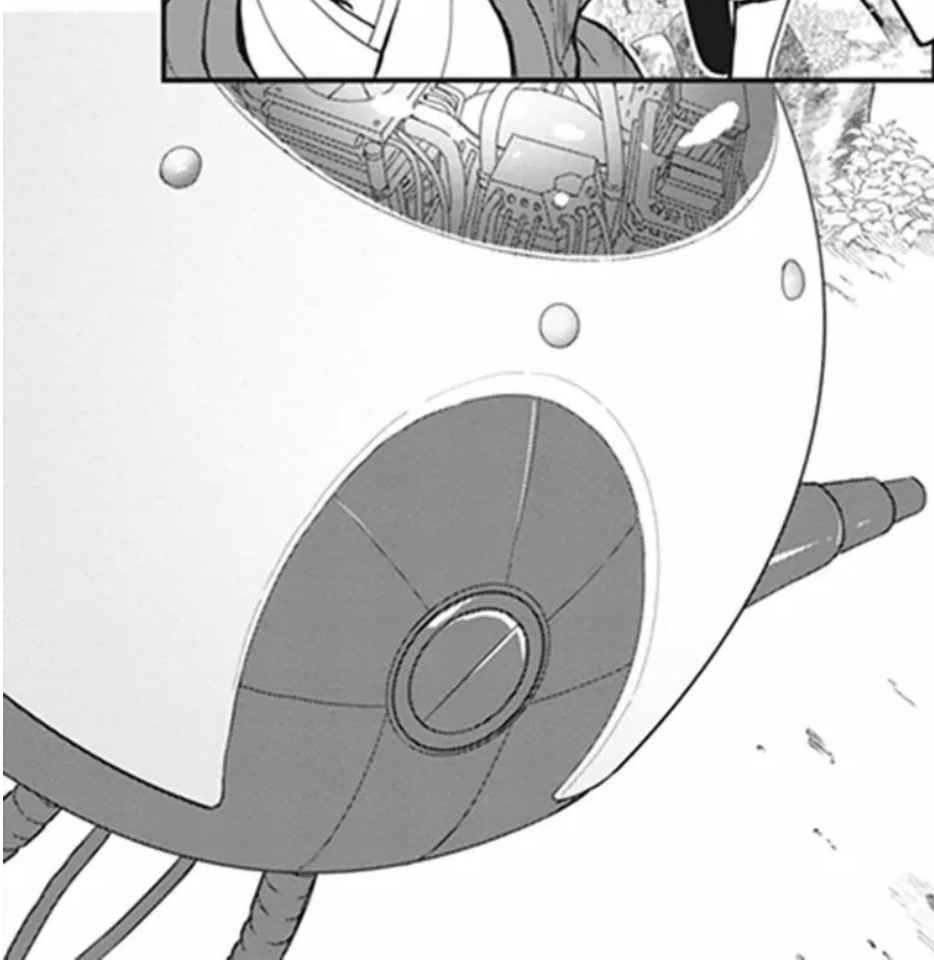
置いておきます
ので……

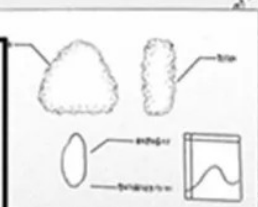
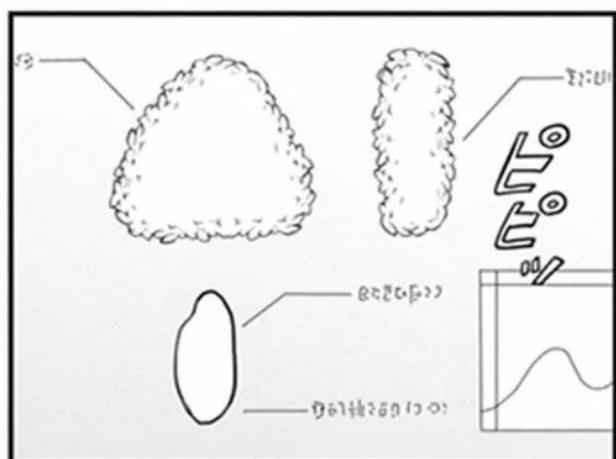
お

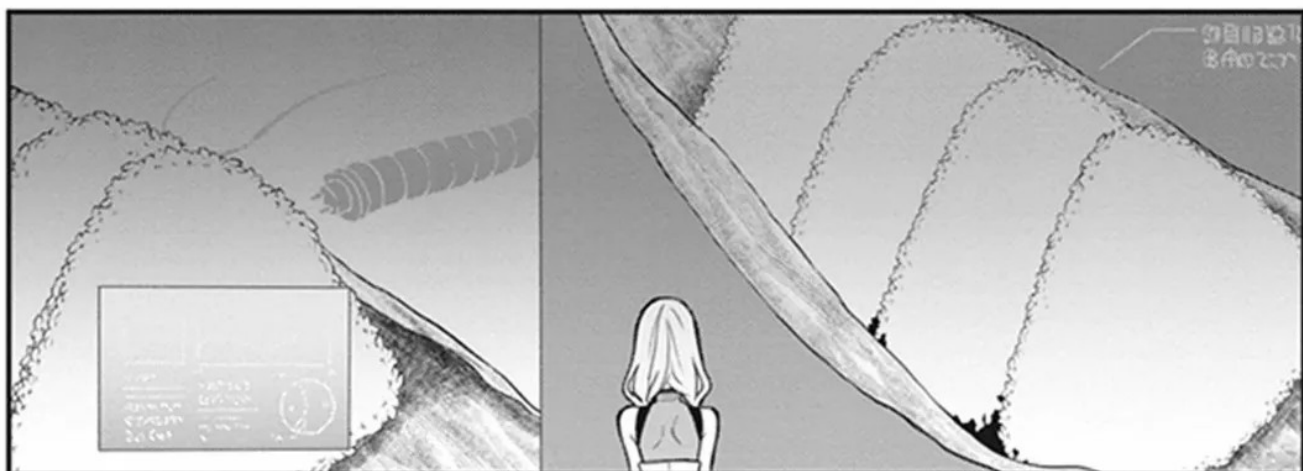


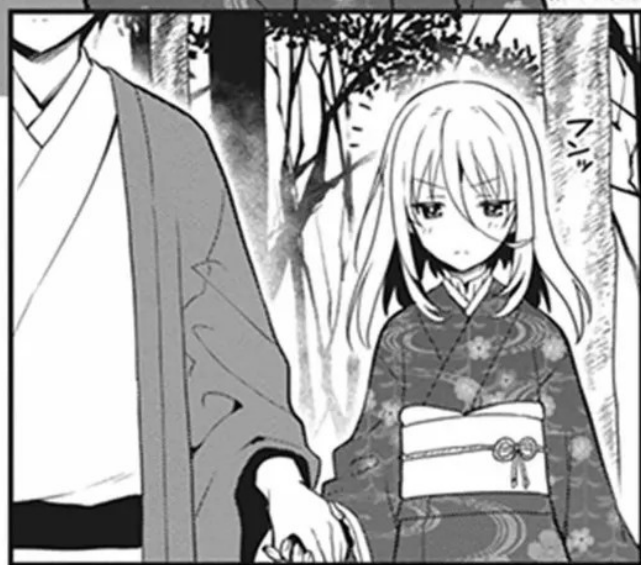
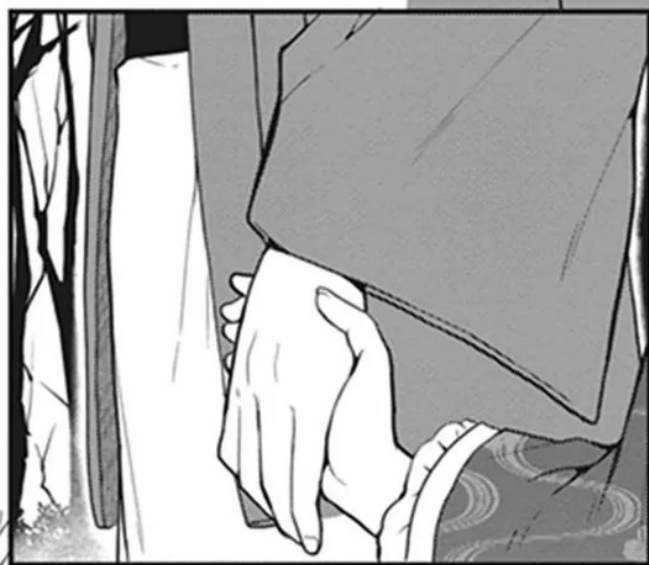
うわっ!!

また
来ます…!!





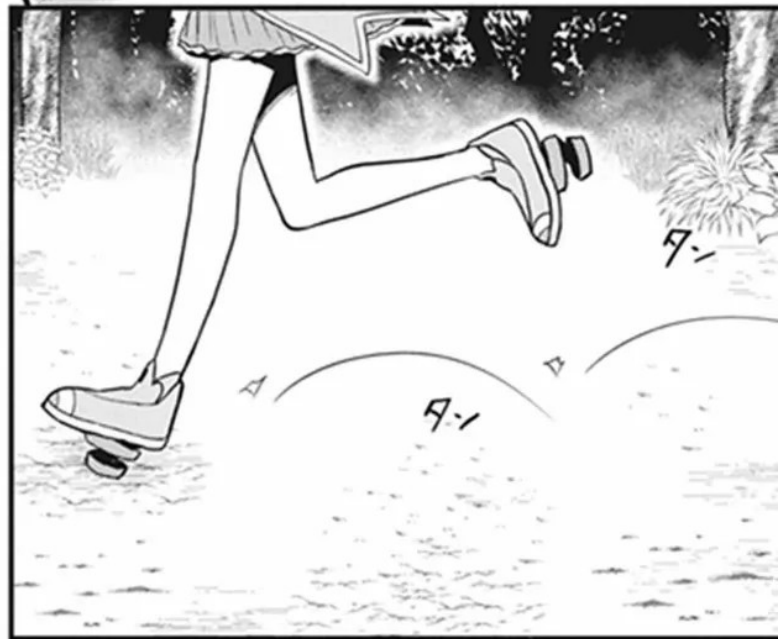
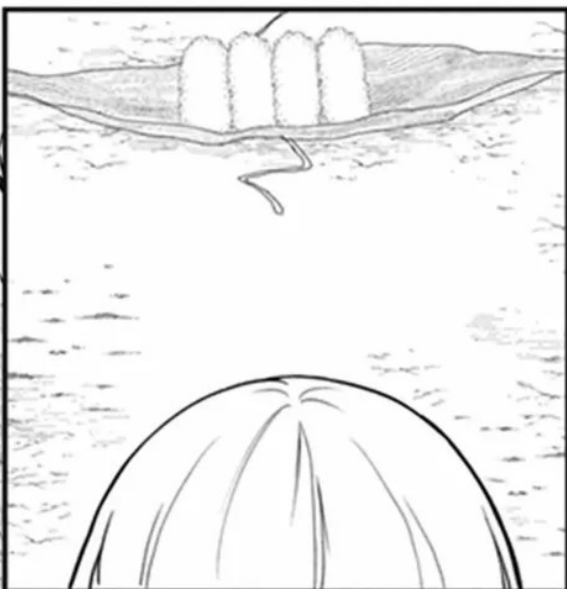




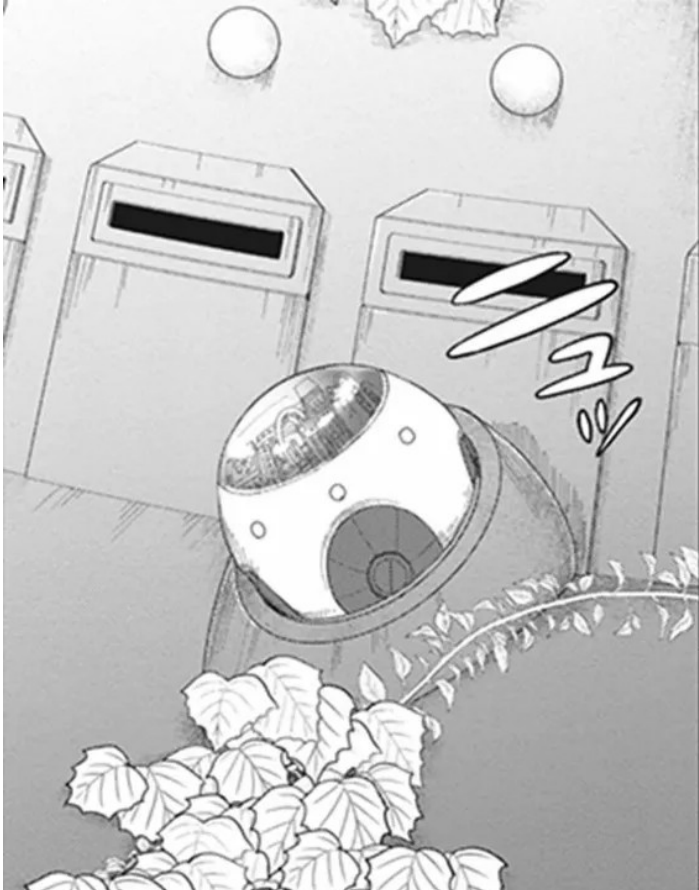












この音声は
翻訳機械を
通しています

我々は法律によって
未開の一族との
接触は禁じられて
います

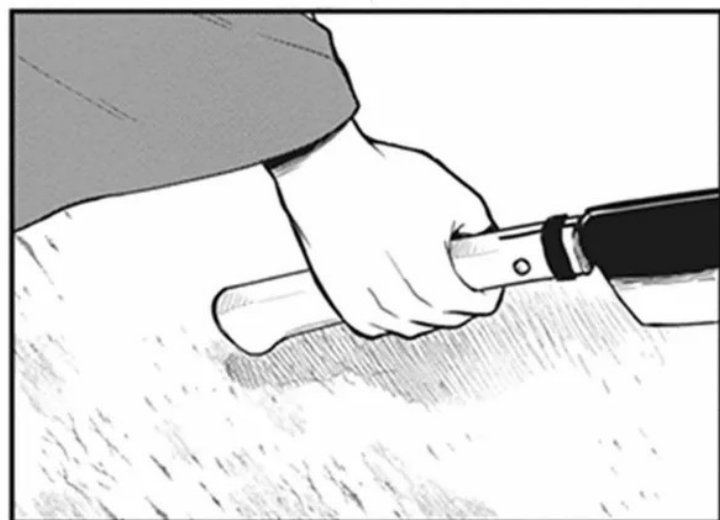
個人的に
食料の供給に
感謝します

ただし

なにに…?

?

飢餓のため
肉体を捨て記憶化
するところでした



かみさま
神様
というか

てんによ
天女みたいに
きれいなひと
綺麗な人
だったな……



また
お供え物を
持ってきます！





……
ほ……

いっしゅうかんご
一週間後
……



わーかこころ

おまのじや
知つてゐるのは
我らだけじゃ

誰にも
言わぬ



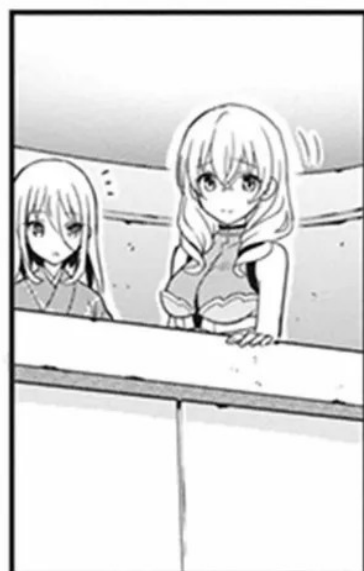
……に
しても



かみさま
神様の
しょうたい
正体がただの
おなごとは……

えいん
おまのじや……

……じやらぬぞ



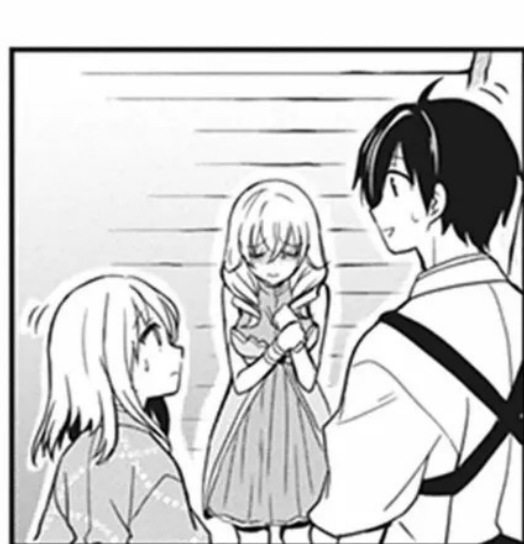


ちゃんとしたら

虚空を
飛べるんだ!!









おゆ……

おゆ……

からだ……
きれい……?

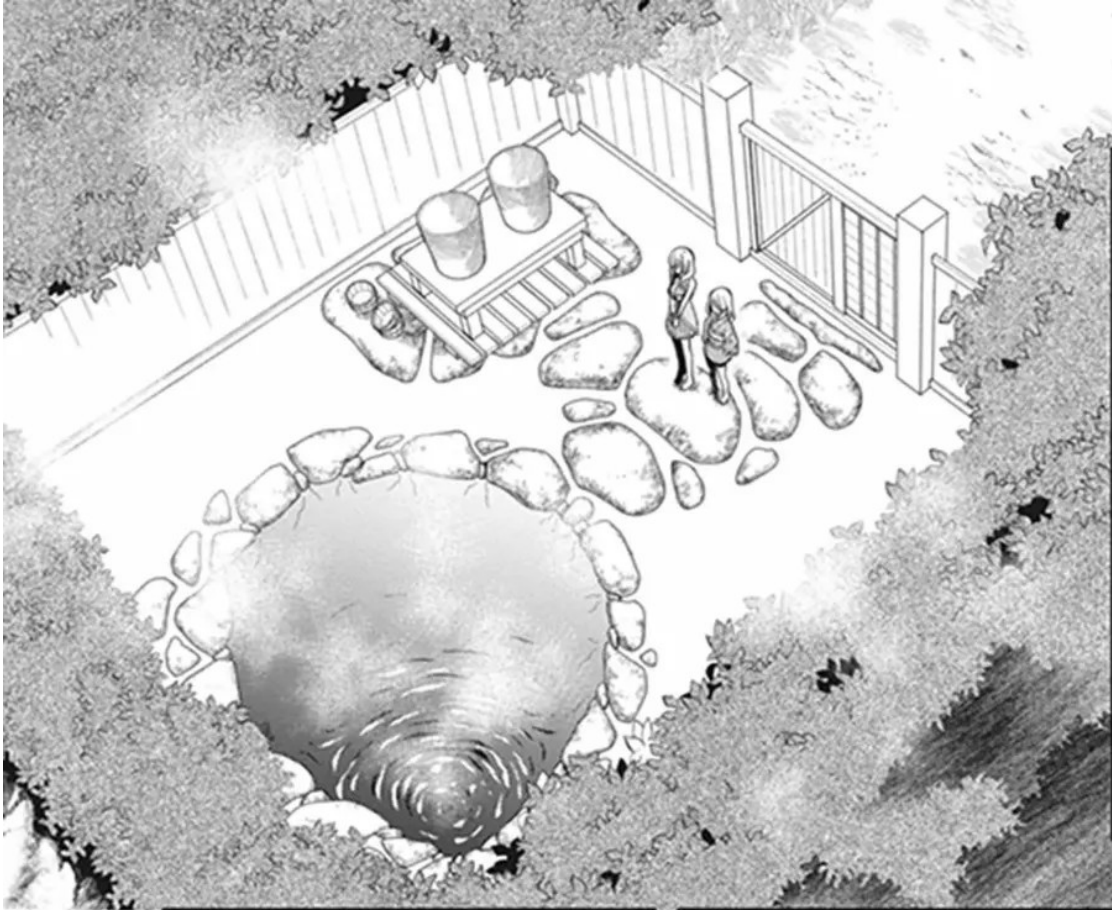
もじっ



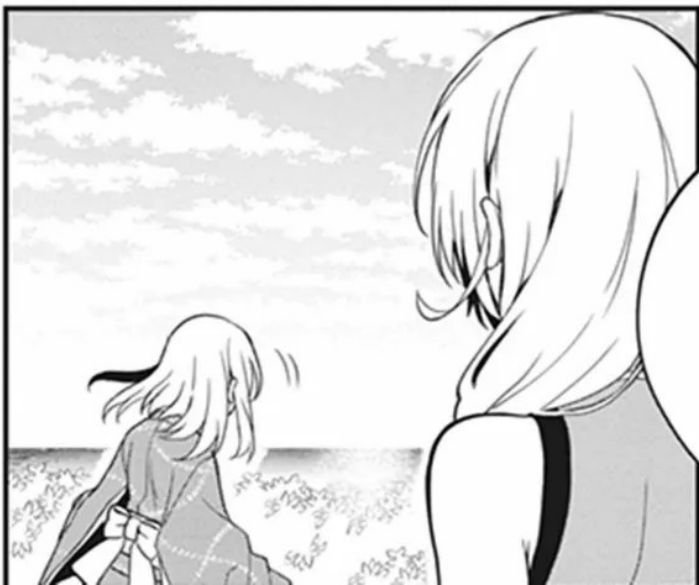
おゆ

からだ?

…お湯で身体を
きれいにしたいと
いうことか?



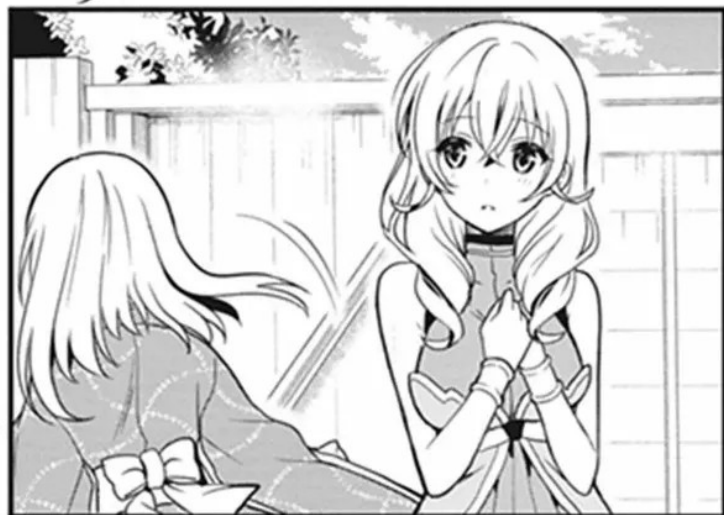
お風呂ふろ!!



ここで
からだ
を
洗えばよい



オススメじゃ

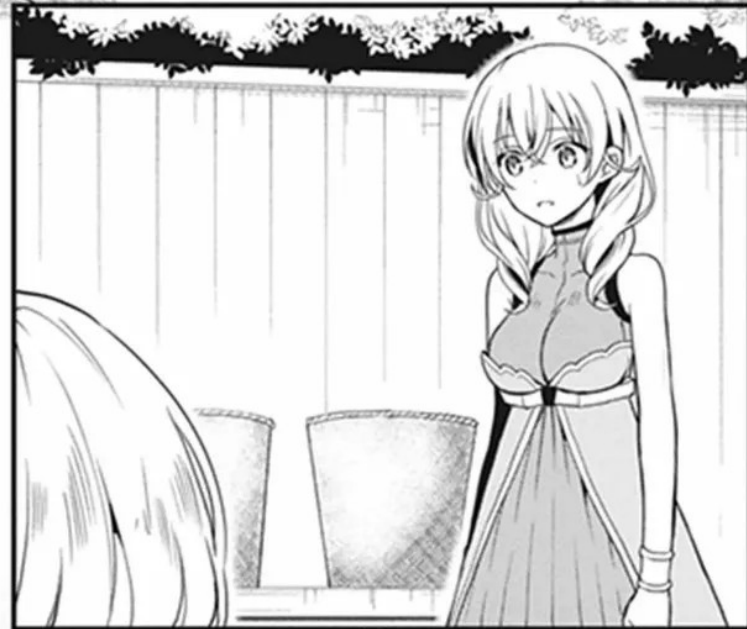




おそ
恐れず
こよ



ふは



一郎太は
動けぬように
してある

安心せい



ちゅぽぽぽ







この島には

淫らで

邪悪な

モノが棲む

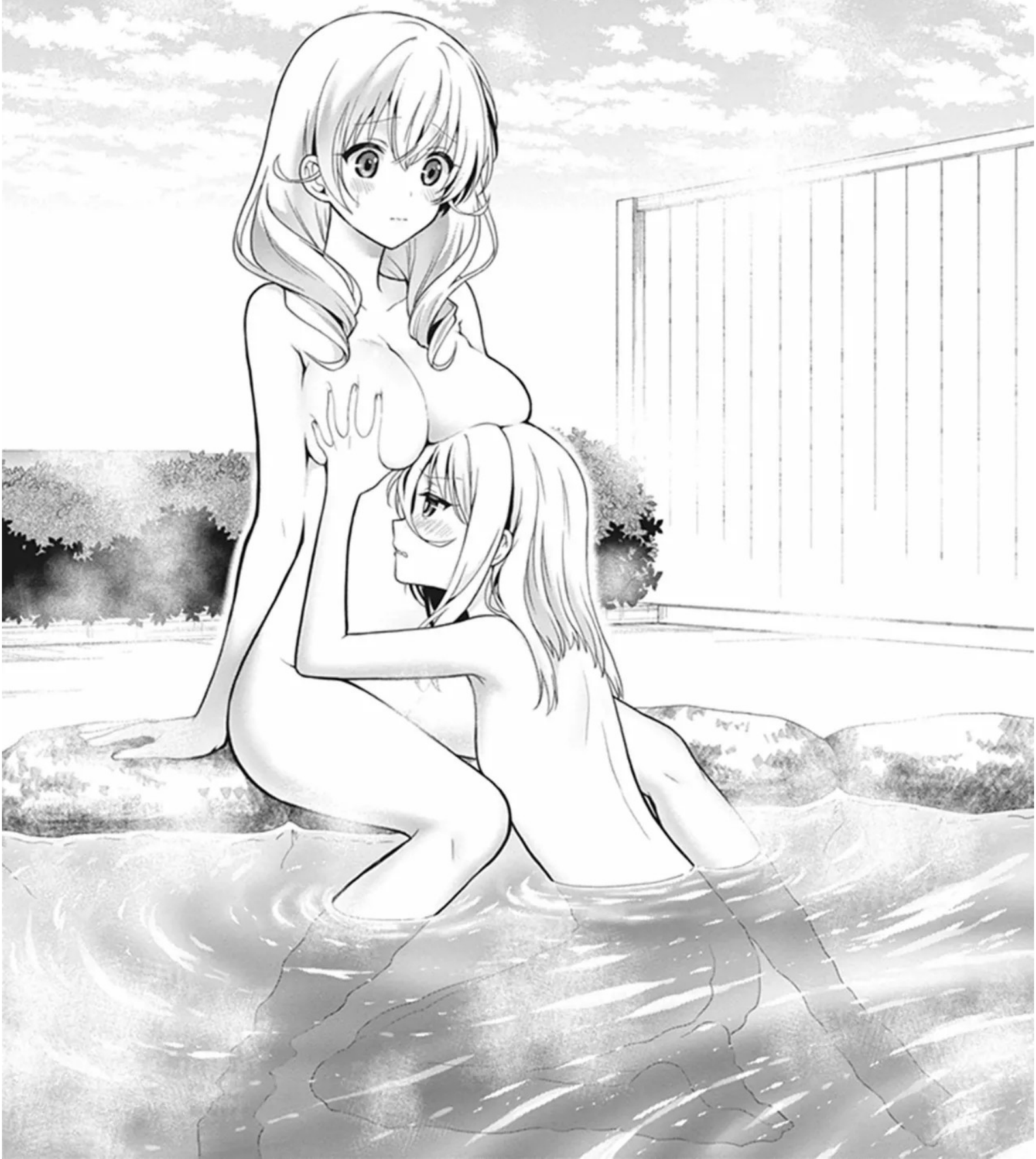
この島には

淫らで

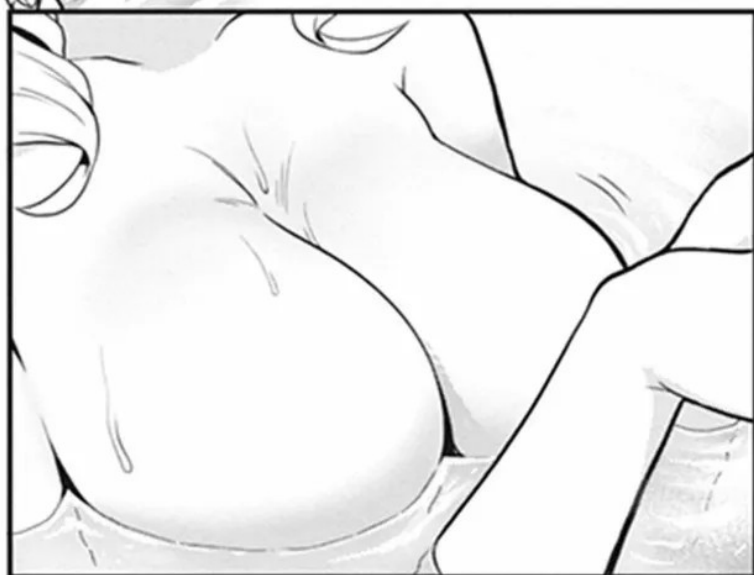
邪悪な

モノが棲む

第二十三話







こうして
見ると…

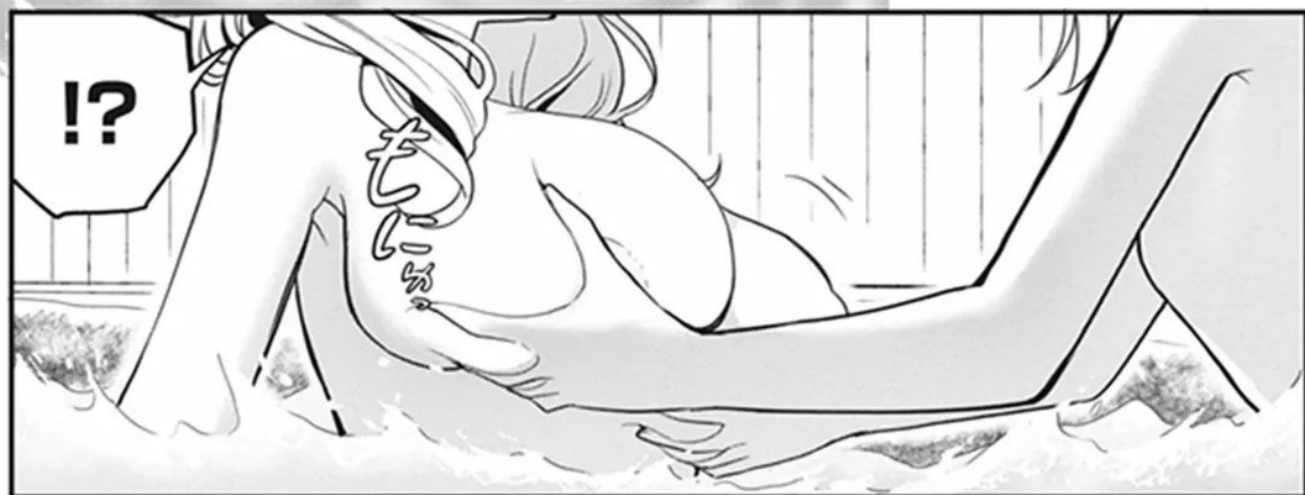
何やら
腹立つもの
じゃな

ビクッ


ひびき

わはは
ははは
ははは



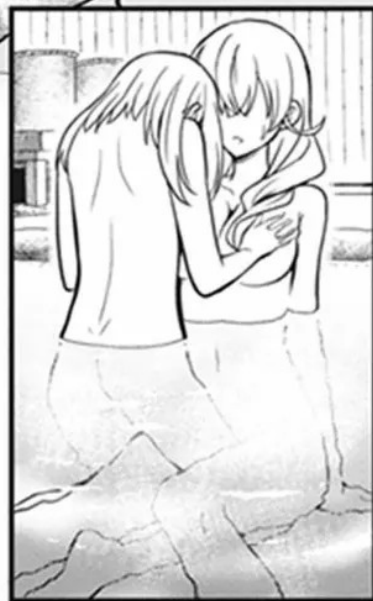






いちろう
郎太を
奪うなよ

あれは
我のものじゃ



よい

…まあ

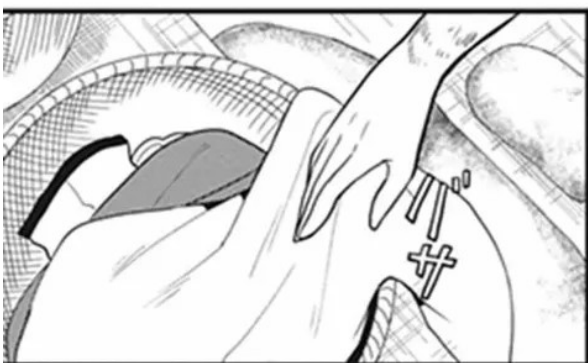




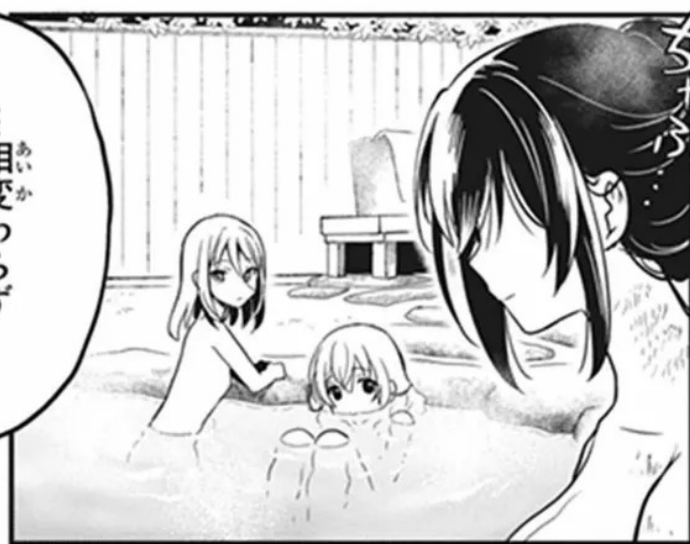


おう
ハルでは
ないか

うん



あいか
相変わらず
あいさう
愛想がないやつ
じゃのう



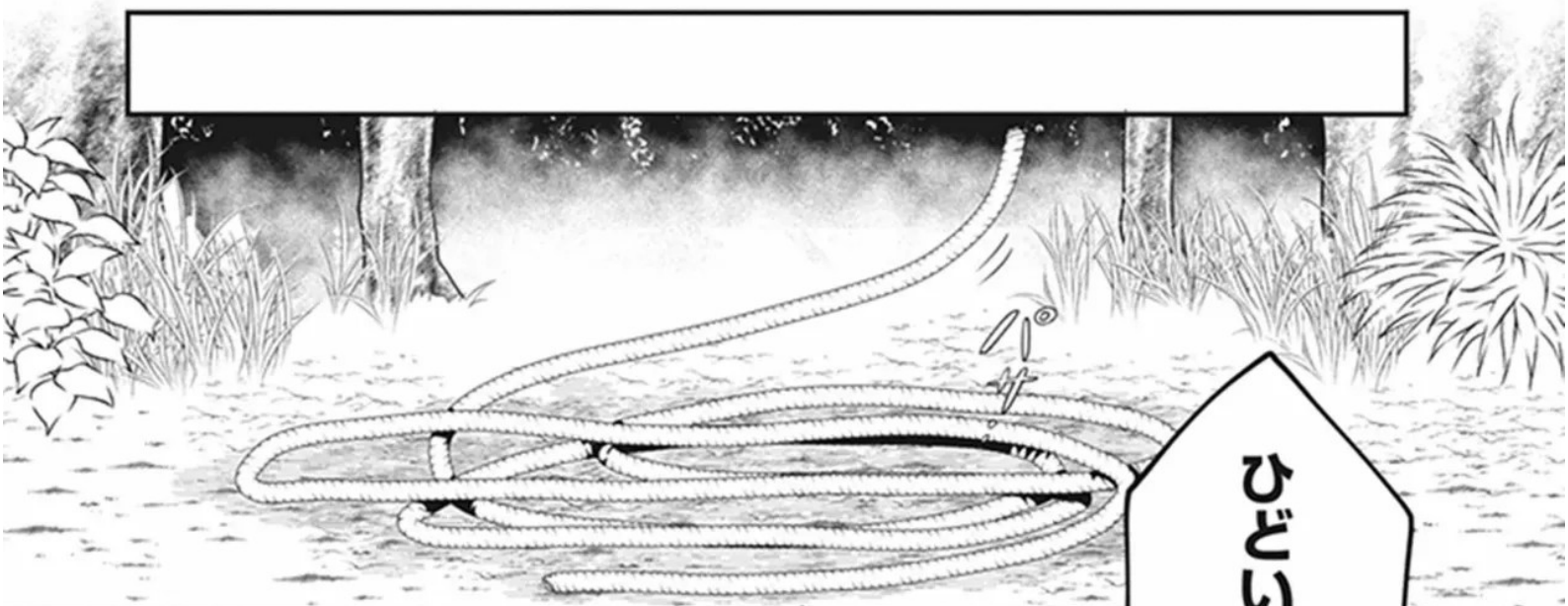
女の子



クソッ
ハルのやつ
どこ行った…!?

こっちのほうに
向かったのは
見たのに…





ひびくよっ!!!



……あれ？



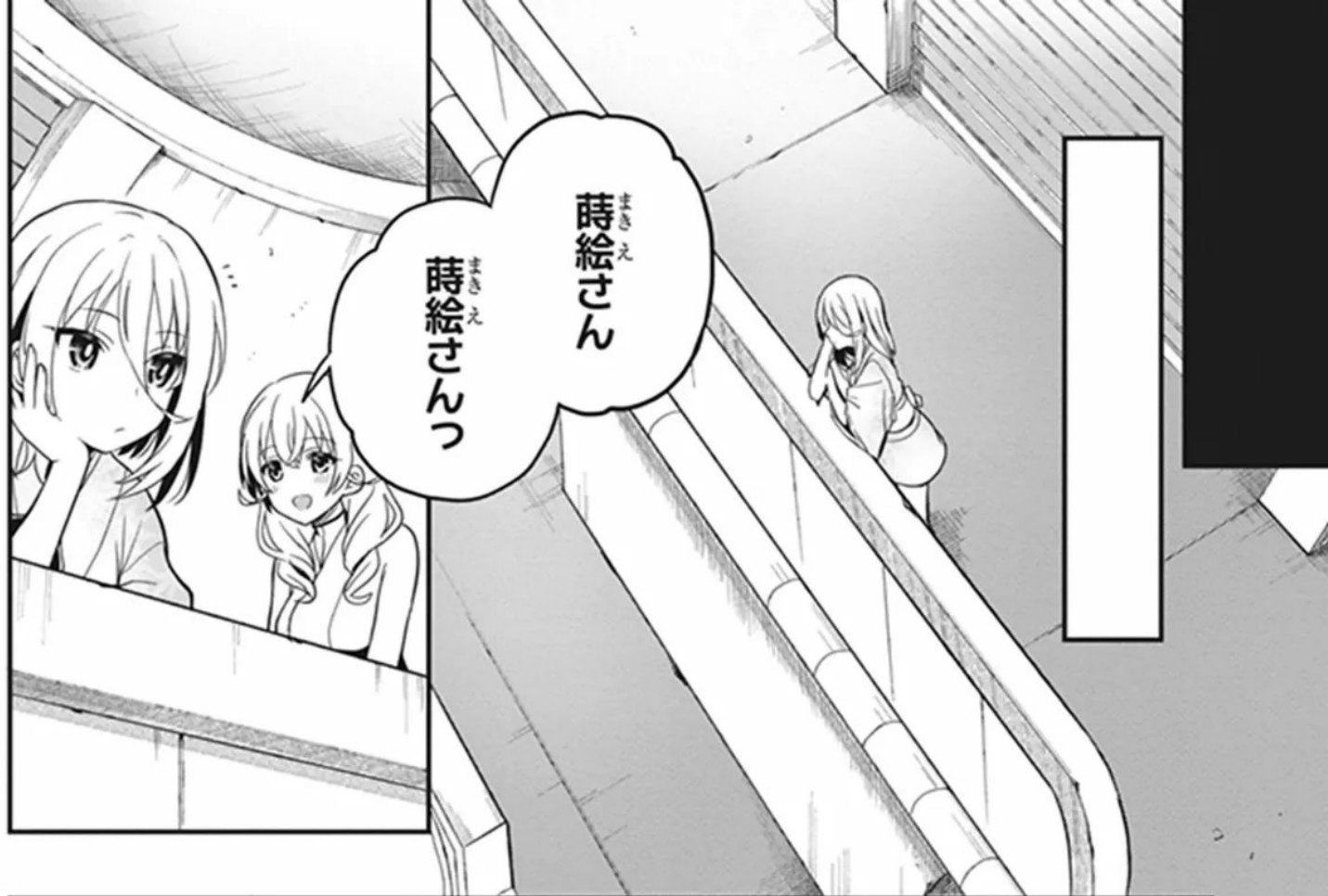
僕も
入りたかったのに

我ならば
いつでも一緒に
入ってやると

何じゃ
一緒に入り
たかったのか？











星の知識とは
何じゃ？



我にも
見せてみよ!!

そっ

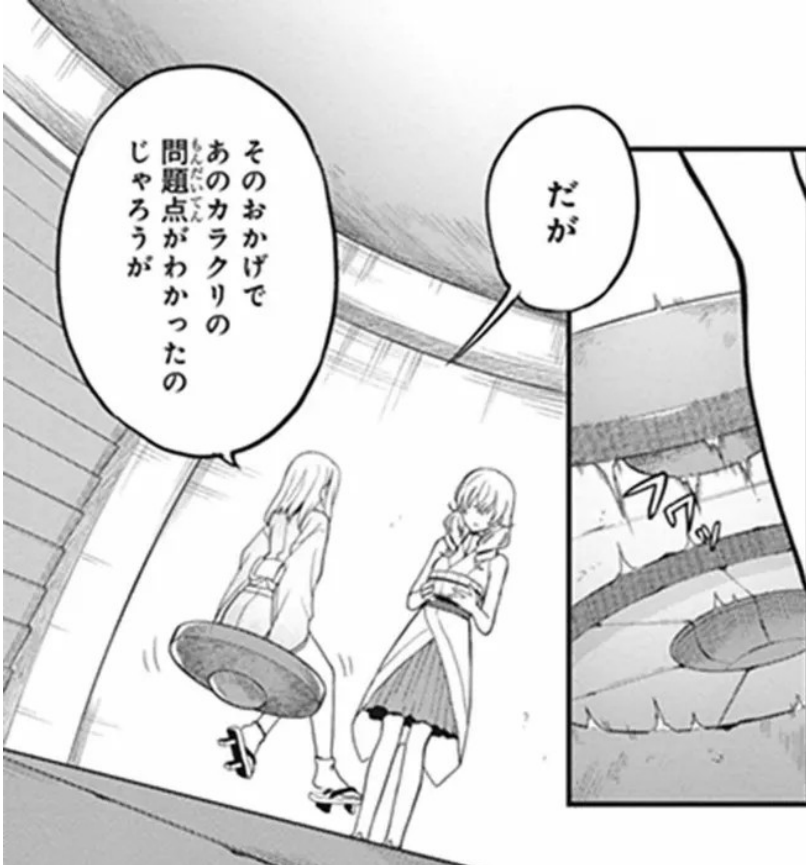
それはダメです!
決めごとで
禁止されています!

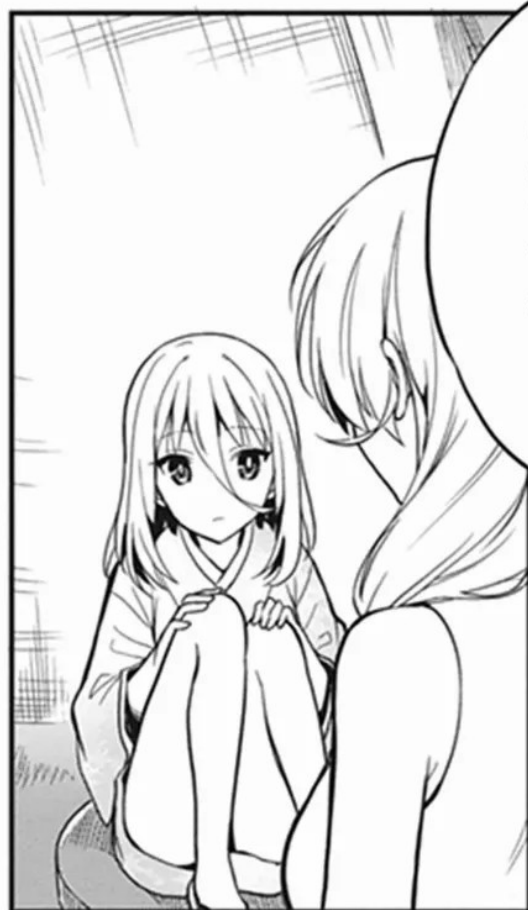
…一郎太さんが
使ったのはあくまで
緊急措置ですから…

一郎太さんに
学習装置を
使わせてしまつて

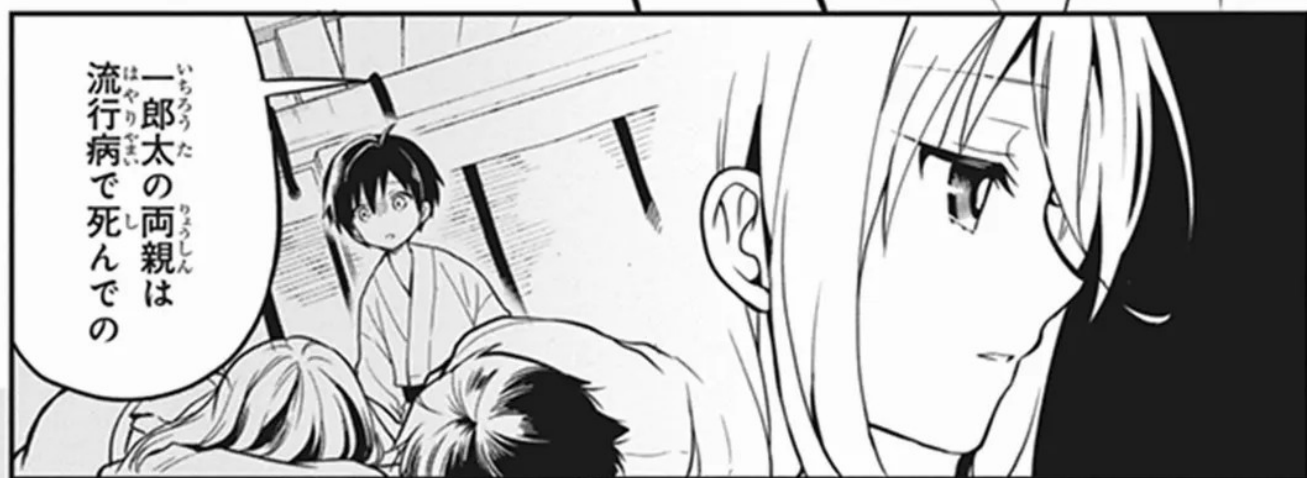
我々の星の
知識を伝えて
しまったことです…







いちろうた
一郎太さんは
どういった方
なのですか？



いちろうた
一郎太の両親は
はやりまゐ
流行病で死んでの

あ
哀れだからと
うちで使つてやつて
いたのじゃが

ものおほ
物覚えは早いわ
手先は器用だわで
重宝しておるうち

居なくなつては
困る男になつて
おつたわ



まあ

われ
私の
おも
想
い
人
じ
ゃ

とうぜん
当然
と
い
え
ば
とうぜん
当然
じ
ゃ
な

こう
好
奇
心
が
強
す
ぎ
る
の
が
な
ま
ま
玉
に
瑕
じ
ゃ
が
な









何度見ても
すごいな…

世界が…

生命が
こんな風に
なっていた
なんて…

この星船は
何で動いて
いるんだろう

あの天界は
他にもたくさん
あるのかな…

あの天界は
どんなところ
だろう

空気はどんな
匂いがするかな

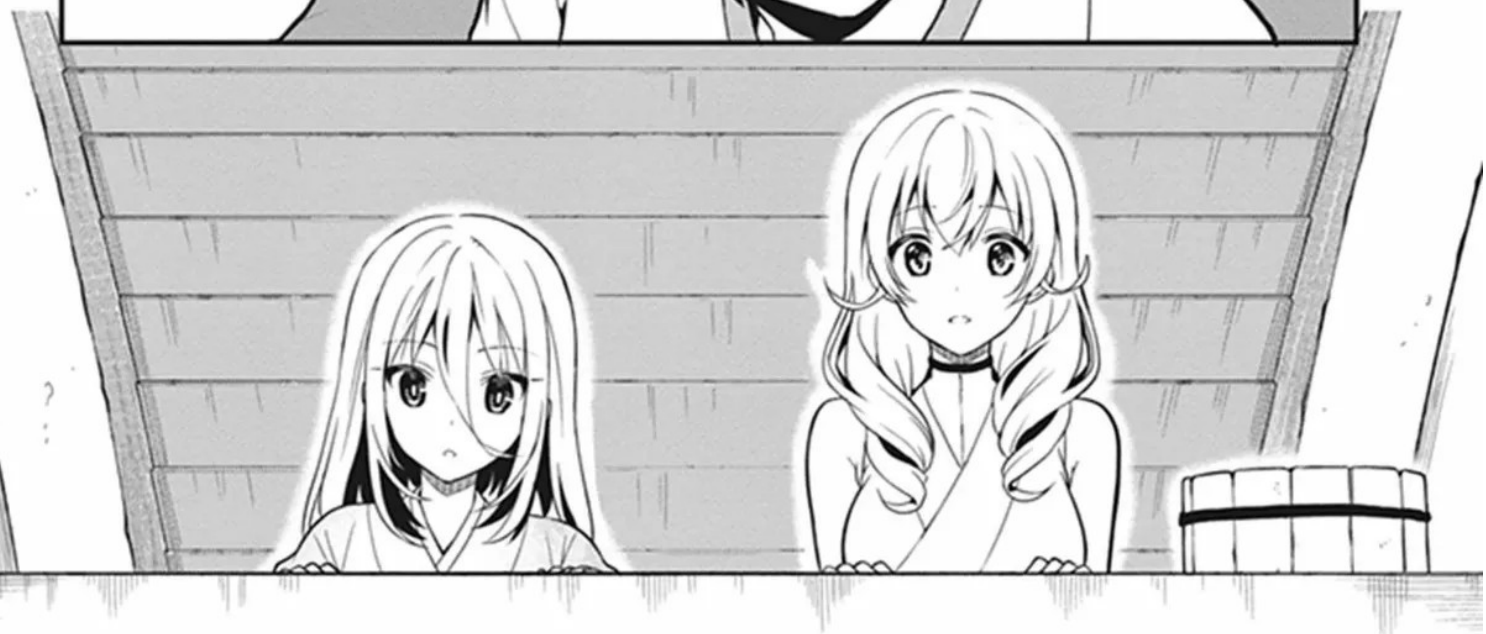
知りたいことが

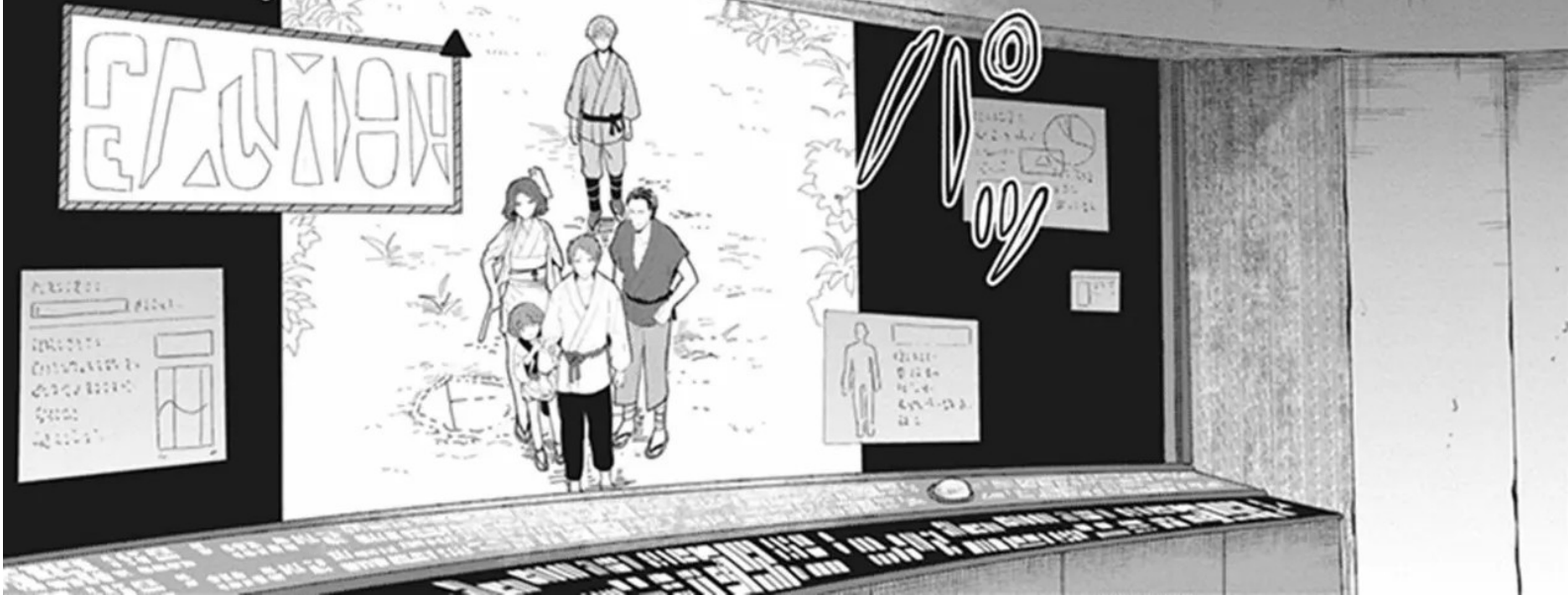
まだまだ
いっぱいだ…!

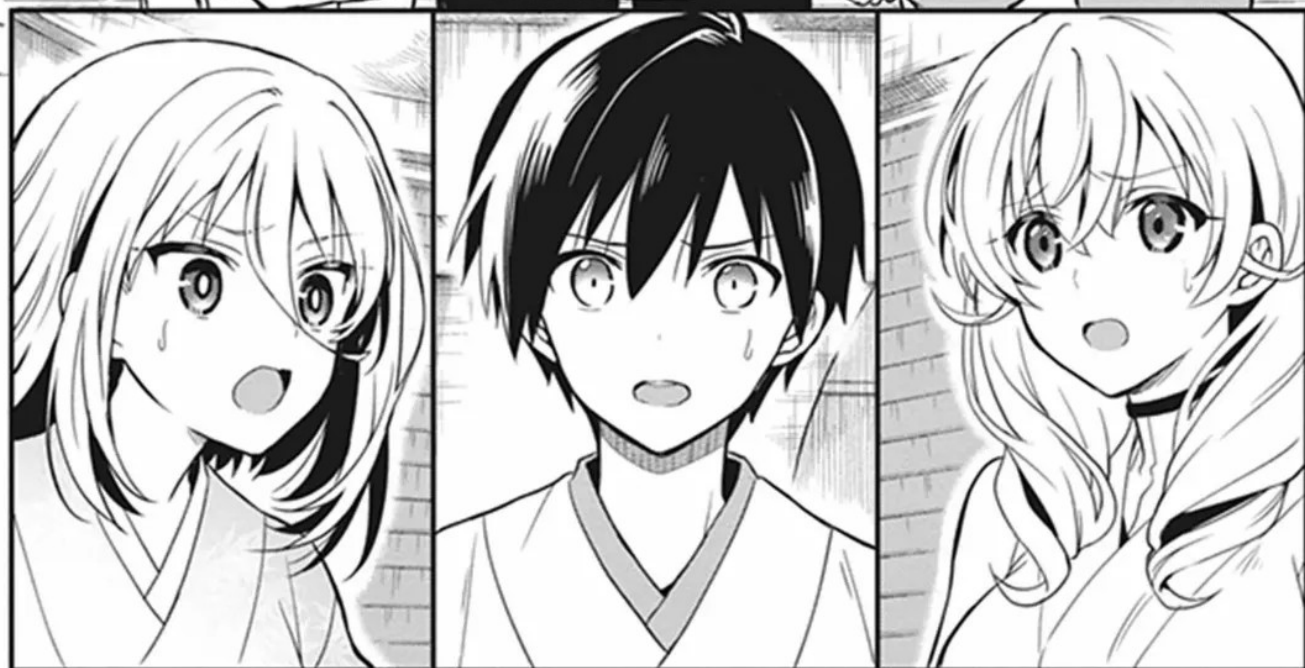


…ニムシムシ









この島には

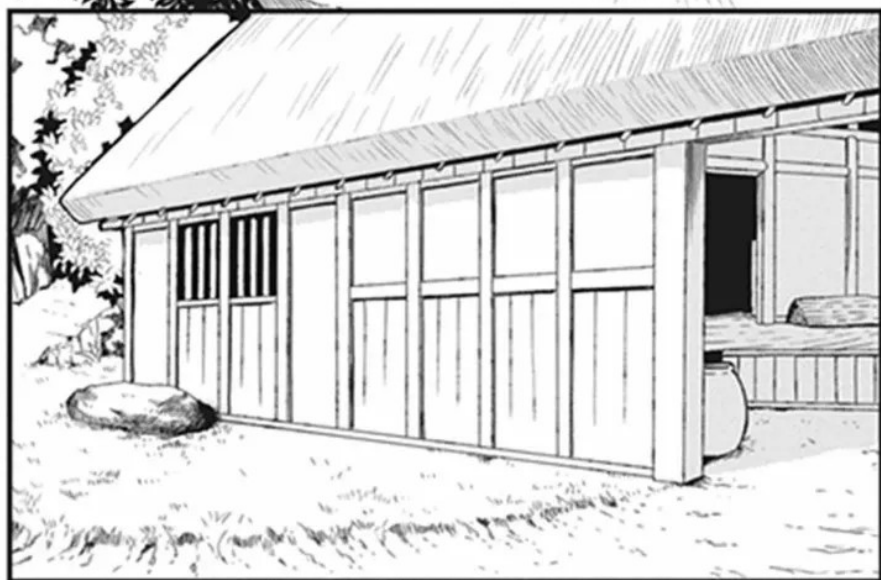
淫らで

邪悪な

モノが棲む

第二十四話





なぜちゃんと
せつめい
説明
せんのだ

…ったく



何かは
知らんが

おかげで
村全体で騒ぎに
なっているぞ

何が起こって
おるのだ？

…どうせ

お父は
説明しても
わからぬ

ギョッ

ギョッ





…また蒔絵は
わけのわからぬ
ことを



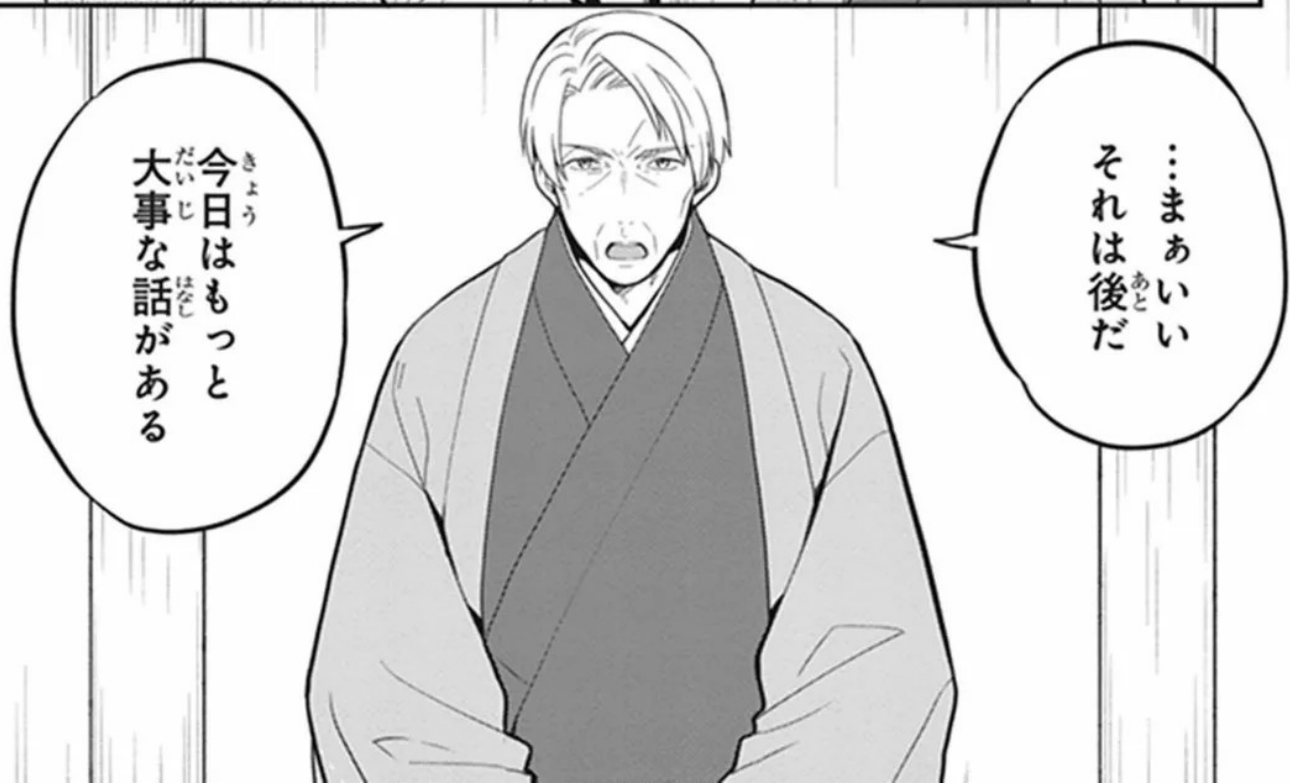
せんさい
織細な話
じゃからなっ

なにしろ
かみさま
神様っぽい
ちがふから
乳袋が絡んだ



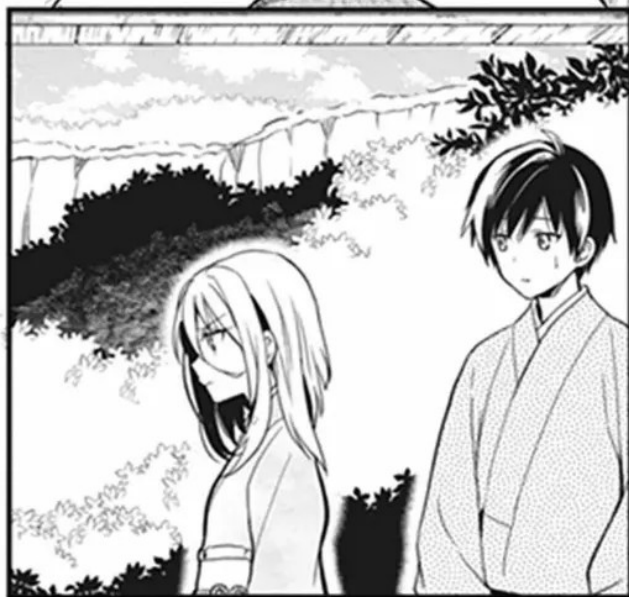
いちろうた
一郎太も
まさえ
ちやんと蒔絵を
おさ
抑えておかぬか

……すみません



きょう
今日はもつと
だいじ
大事な話がある

…まあいい
あど
それは後だ



おにた
大仁田とかいう
大名が

われ
我らから
ちよびちよび
上前をはねている
のは知っている

……

おにたさま
大仁田様と伊喜島の
間の取次をやって
いただいております
笠根有朝様から
申し出があった

…あのデブか

あやつは
嫌いじゃ

なにやら
いやらしい目で
我を見る



お父のおくびよもの
臆病者め



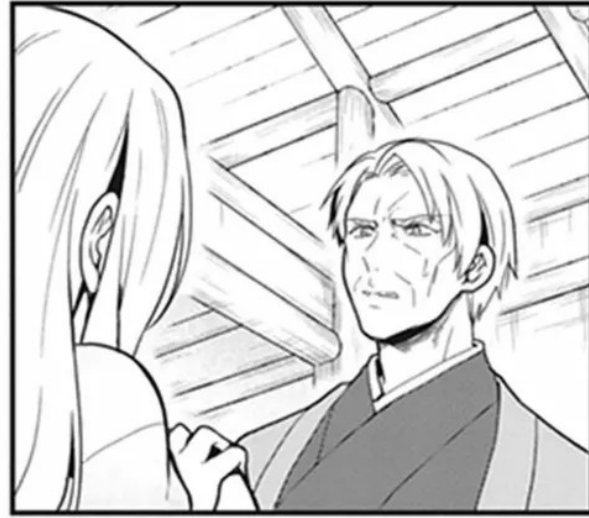
ばかもの
馬鹿者

笠根様は
大仁田様の重臣じゃ
粗相は許さぬぞ



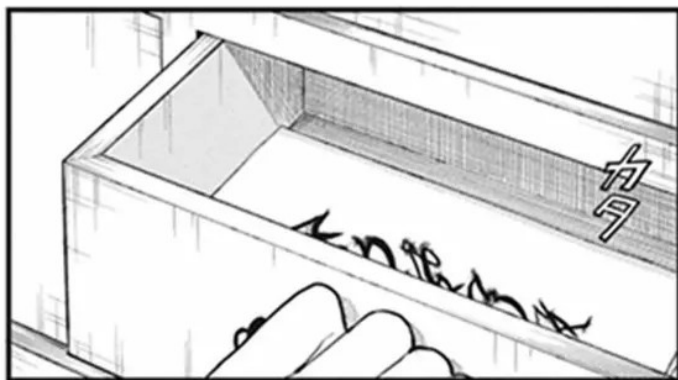
くそっ

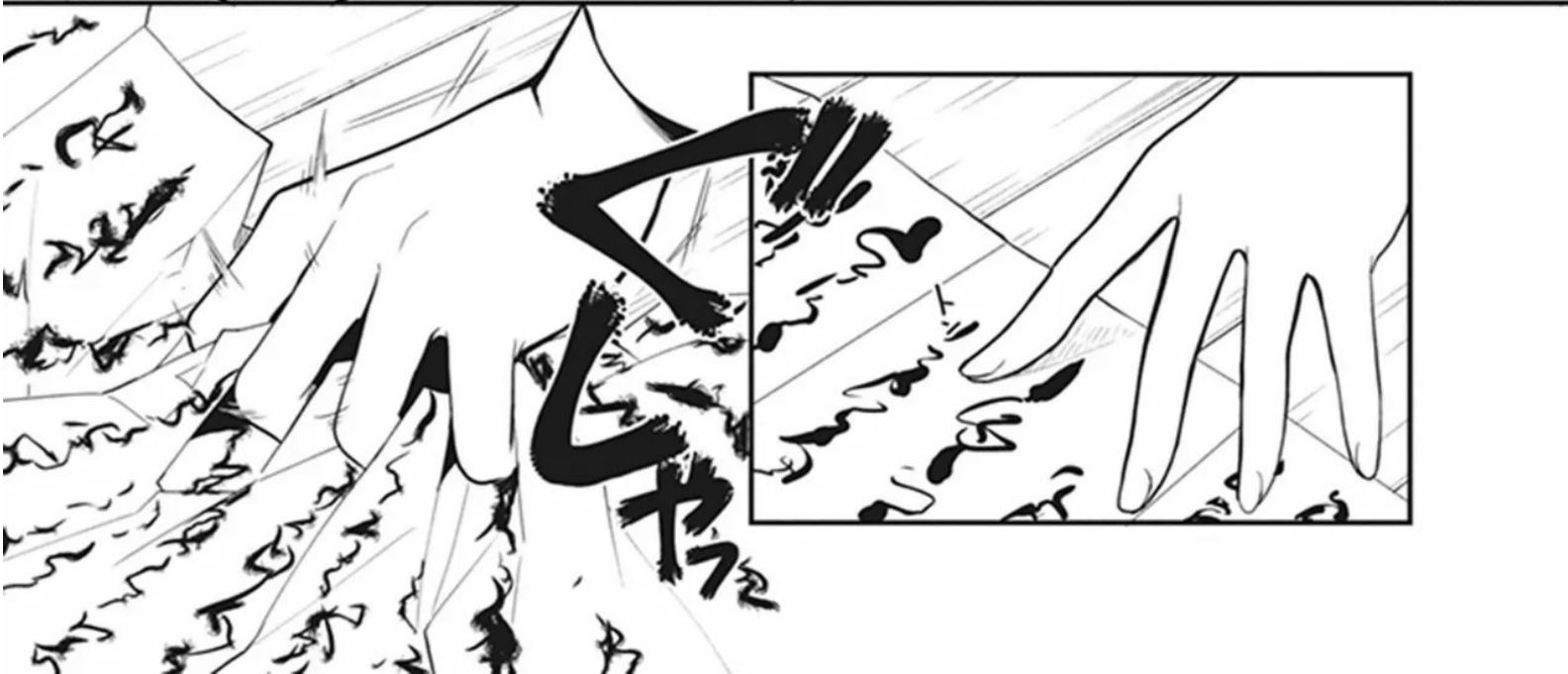
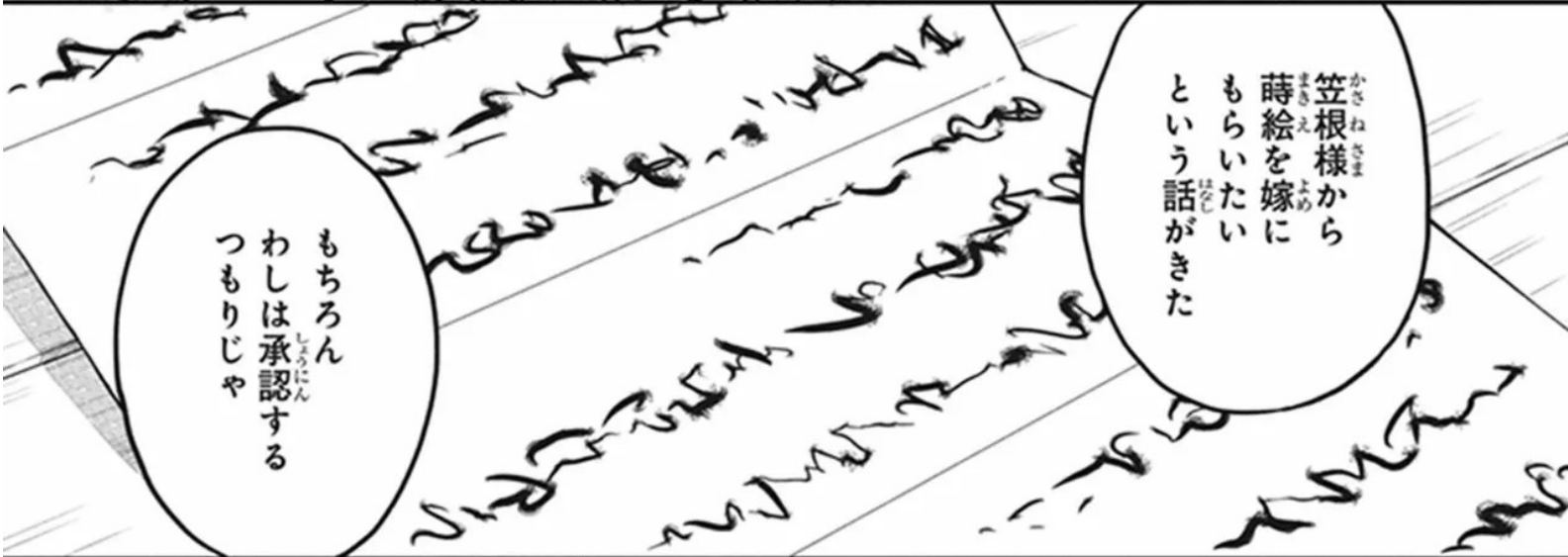
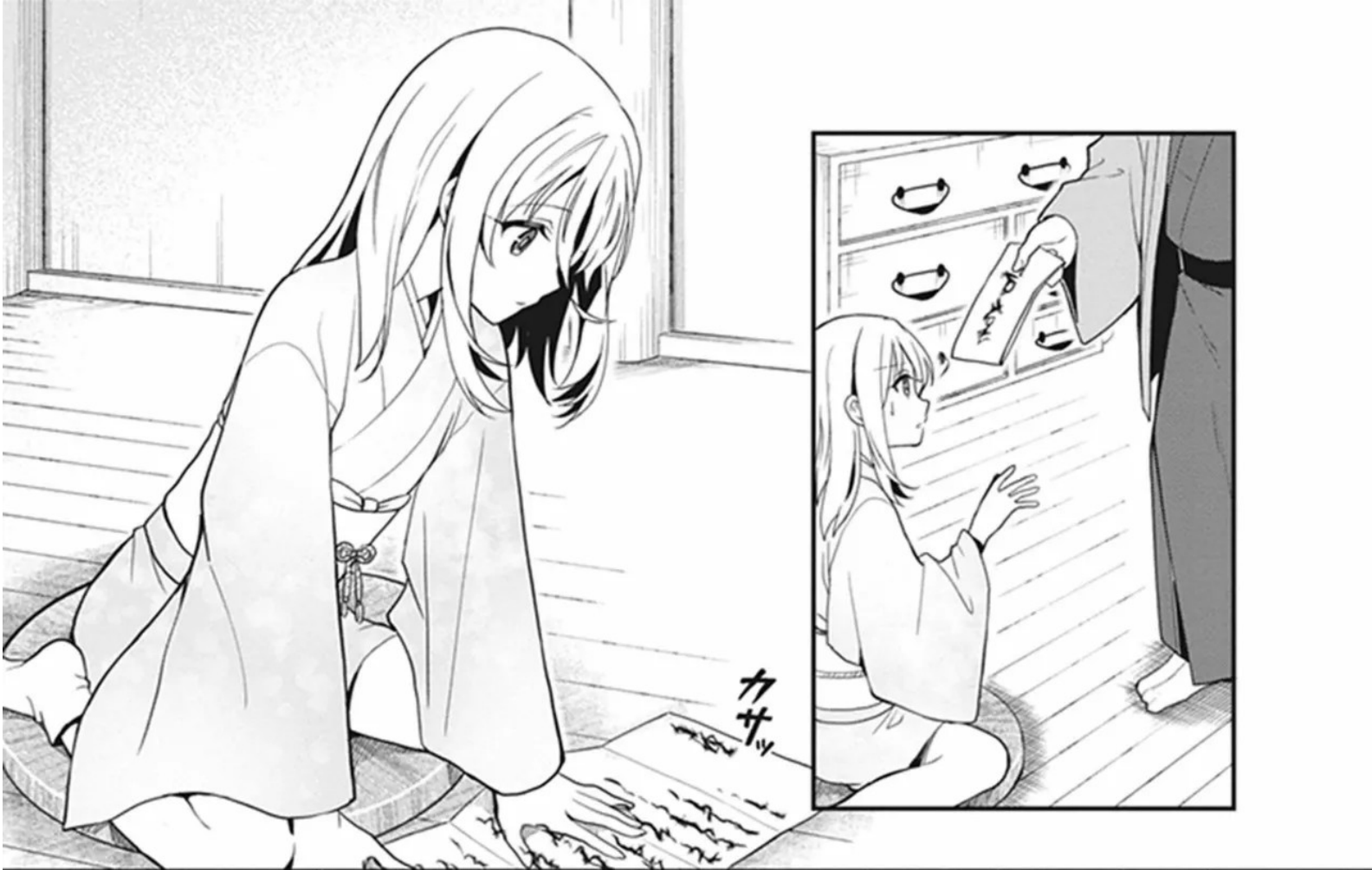
蒔絵と話していると
どうにも
調子が狂う



なにしろ

とにかく
笠根様のことを
悪く言うな







おわっ

嫌じゃ!!!



島のためじや
了見せよ

何も嫌もない

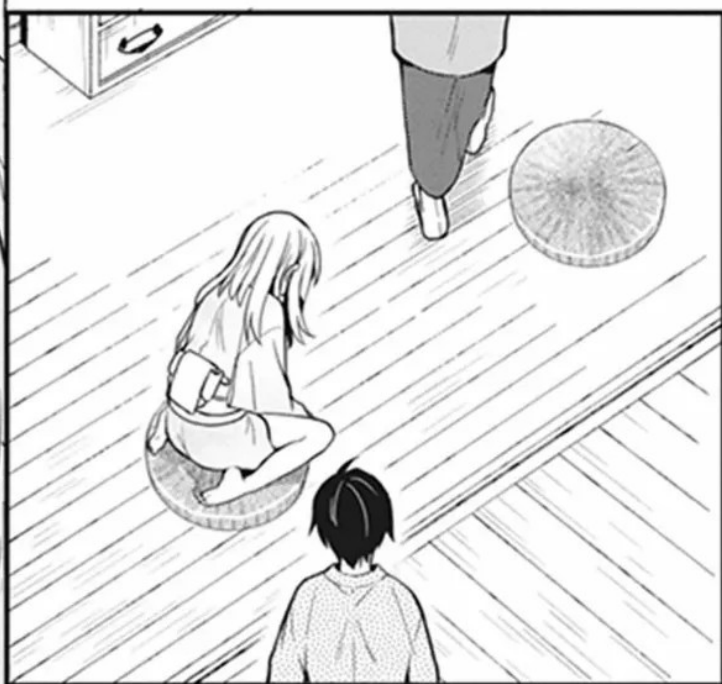


一郎太も
そのつもりで
いるように



明日にも
家中の者と
笠根有朝様が
いらっしやる

準備を
しておれ







まひえ
蒔絵ちゃん？



…起きて
いるか？



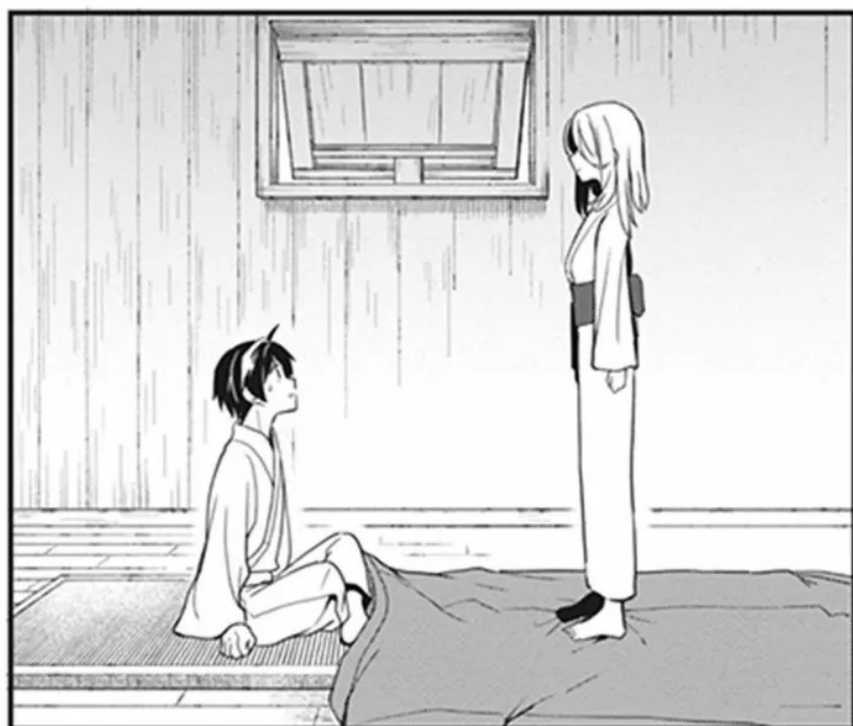
こんな
よふか
夜更けに…

どうしたの？



はい
るぞ

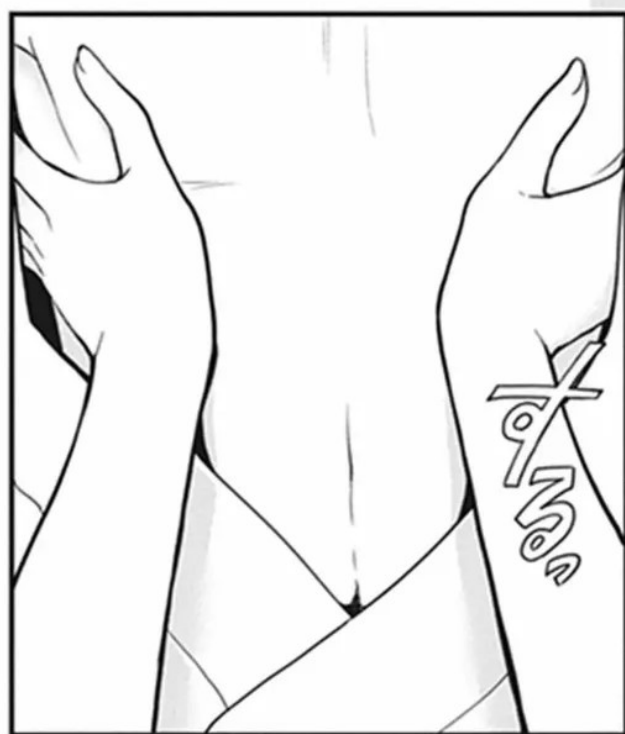












我が一郎太以外の
モノになるのは

嫌じゃ

我が
認めぬ

安心せい

一郎太は
ただ黙って
我に身を任せて
おけばよい



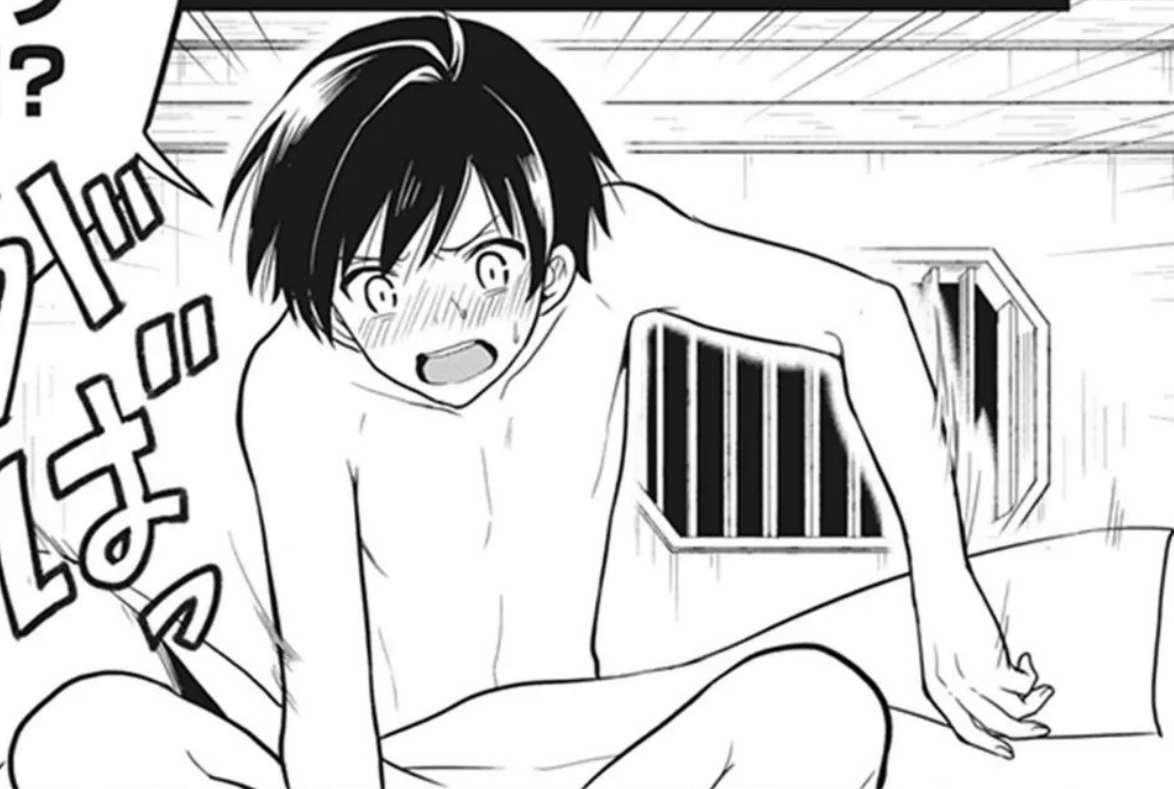
ふい





うわあっ!?

か
は
は



何だ...











六巻に続く...

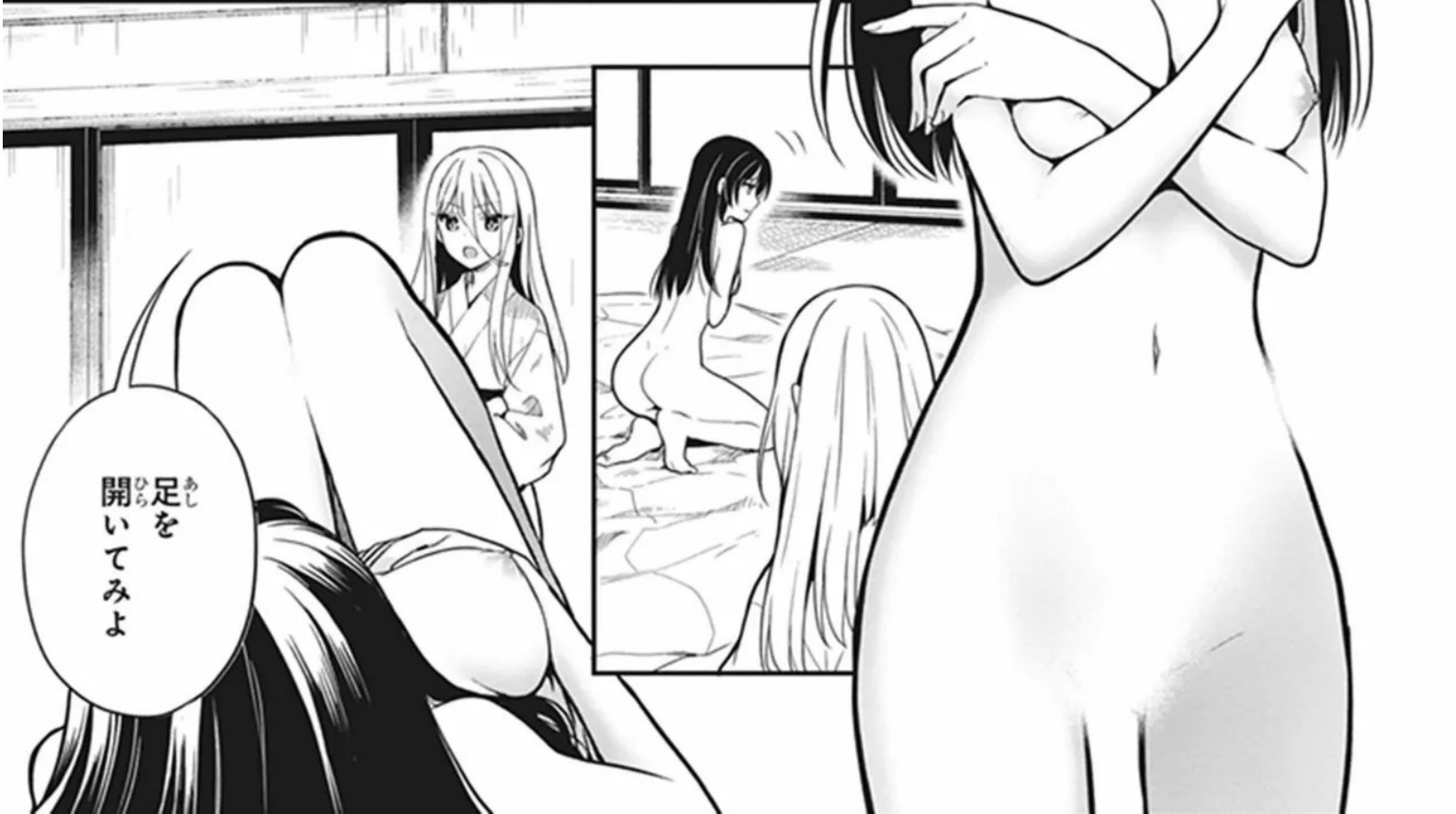
この島には

淫らで

邪悪な

モノが棲む

第二十四・五話





見えにくい

腰をあげろ



ヒッパ





この島には

淫らで

邪悪な

モノが棲む

次巻予告

目を覚ましたのは、
梶浦か、それとも……

もう一度
会いたかったぞ

本当に

……本当にっ



なんか
胸が痛い



梶浦くんは
まだいるの
ですか？

一郎太だよ





夜戸さんが
好きだってこと
だって

島を再び
混乱と快楽が
襲う！



この島には淫らで
邪悪なモノが棲む

第⑥巻

2016年冬頃発売予定

5

この島には

淫らで

いもっ 邪悪

な

原

モノカガ棲む







孤島・伊喜島に今も残る
淫靡な慣習――

それは島の男女が本能のままに
まぐわうというもの。

多くの島民が快楽を求めてする
多くの島民が行いには、
その淫らな行いには、

実はもう一つの目的があるのだと言う。
一方、棍浦の前で糸まとわぬ安となった少女は、
その華奢な身体を棍浦に重ねる。
熱を帯びる淫らな行い、そして少女の柔肌。

増幅する快楽の先で、
絶頂のさらにその先で、
棍浦を待ち受けるのは……？

本書（電子版）に掲載されているコンテンツ（ソフトウェア／プログラム／データ／情報を含む）の著作権およびその他の権利は、すべて株式会社 KADOKAWA および正当な権利を有する第三者に帰属しています。

法律の定めがある場合または権利者の明示的な承諾がある場合を除き、これらのコンテンツを複製・転載、改変・編集、翻案・翻訳、放送・出版、公衆送信（送信可能化を含む）・再配信、販売・頒布、貸与等に使用することはできません。



この島には淫らで邪悪なモノが棲む⑤

2016年6月27日 発行

著者 原つもい

発行者 塚田正晃
発行 株式会社 KADOKAWA
〒102-8177 東京都千代田区富士見 2-13-3
03-3238-8745 (営業)
<http://www.kadokawa.co.jp/>

プロデュース アスキー・メディアワークス
〒102-8584 東京都千代田区富士見 1-8-19
03-5216-8398 (編集)
<http://asciimw.jp/>

©2016 TSUMOI HARA

※2016年6月27日発行の電撃コミックス「この島には淫らで邪悪なモノが棲む⑤」初版に基づき制作